

「横浜市中期計画 2026～2029」の公表について

1 趣旨

今後 4 年間の横浜市政の指針となる「横浜市中期計画 2026～2029」（以下「本計画」という。）は、6 月 5 日に横浜市会において議決されました。※ 1

本計画の策定に当たっては、横浜市町内会連合会及び各区区連会の皆様に、市民意見募集やパブリックコメントをはじめ、多大なる御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

このたび、本計画の冊子及び概要版を横浜市ホームページで公表しました。

本計画は、「市民の実感」で政策の成果を測り、データに基づく検証・改善を重ねることとで、市民生活の向上を図ることを目指しています。

本計画に掲げた戦略や政策等を皆様と共有し、連携しながら、共に目指す都市像「明日とひらく都市」の実現に取り組んでまいります。

本計画の周知に御協力のほど、何卒お願い申し上げます。

※ 1 附帯意見を付して議決

2 お願いしたいこと

【区 連 長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で周知をお願いします。

3 公表資料

単位会長あてに概要版パンフレットを送付します。詳細は別添をご参照ください。

また、確定版冊子の販売及び概要版パンフレットの配布は以下のスケジュールで予定しています。

	確定版冊子（有償販売）	概要版パンフレット
7 月 2 日	市ウェブページ※ ² で公表済み	市ウェブページ※ ² で公表済み
7 月区連会	－	単位会長あて送付
7 月中下旬	－	配布開始予定 （市民情報センター、区役所等）
8 月頃	販売開始予定 （価格、時期など決まり次第、市ウェブページ※ ² で公表します）	－

※ 2 市ウェブページ

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/hoshin/4kanen/2026-2029/chuki2026-.html>



政策経営・国際戦略局経営戦略課
担当 山口、岡田
電話 045-671-2010 /FAX 045-663-4613
メール ss-keieisenryaku@city.yokohama.lg.jp



横浜市中期計画 2026-2029

【概要版】

City of YOKOHAMA

横浜の未来

— 都市像「明日をひらく都市」へ(2040年頃の横浜のありたい姿)—

都市像「明日をひらく都市」は、2040年頃の横浜のありたい姿をあらわしています。「横浜市中期計画2026-2029」においても、「明日をひらく都市」を2040年頃の横浜のありたい姿として継承します。そして、横浜に関わる全ての皆様と、共に未来を切り拓いていくための共通の大方針として、引き続き共有、活用していきます。

共にめざす都市像

明日をひらく都市

OPEN × PIONEER
2040 YOKOHAMA

社会の変化が早く、先を見通しにくい時代になっている今こそ、
都市や暮らしの在り方をもう一度、皆さんと共有し直す必要があります。

私たちのまち横浜は、150年以上前から先人たちが未来を切り拓いてきた、挑戦の地です。

ありたい姿を追求し、皆さんと共に力をあわせて、つくってきた今の横浜。

これから、私たちが、この困難な時代を乗り越えて、子どもたちに、
未来につないでいかなければなりません。

横浜は、全ての人の「明日をひらく都市」であり続けたい。

様々な困難を抱えていても、その人が望む道を選択し、みんなで応援する都市。

多種多様な人の才能、その人らしい可能性をひらく都市。

たくさんの人が集い、明日を感じ、語らいあえる都市。

多くの様々な企業が集まり、つながり、新しい価値を生み出しつづける都市。

自然や文化をはじめとした、豊かなまちの魅力をひらく都市。

横浜が持続可能であることはもちろん、地球における持続可能性をひらく都市。

横浜に関わる、全ての人が前を向き、希望にみちあふれた毎日を送れる、

世界のどこにもない都市を共につくりましょう。

明日に向けた一人ひとりの行動が、新しい横浜をつくっていきます。

※「明日をひらく都市」は、変化が激しく先行きが見通しにくい不確実な社会にあって、「横浜市中期計画2022-2025」の策定を機に、法令等に留意し、4年ごとに策定する中期計画の指針にするという考え方に立って策定した都市像です。横浜市は、あらゆる機会を捉えてこの指針を内外に発信・共有し、横浜に関わる多様な人・企業・団体の皆様と共に未来を切り拓いていくための共通の大きな考え方として活用してきました。

※「明日をひらく都市」は、社会の変化に対応しながら持続可能で包摂的な都市を目指す方向性として示したもので、横浜市基本構想(2006(平成18)年策定)を踏まえて策定しています。「明日をひらく都市」を本計画でも継承していくとする考えのもと、横浜市基本構想を今後も継承していきます。

計画の考え方

【 計画の位置付けと策定経過 】

「横浜市中期計画2026-2029(以下「本計画」という。)」は、2040年頃の横浜のありたい姿として、都市像「明日をひらく都市」を継承し、現状の課題解決に取り組みながら、「市民生活の安心・安全」と「横浜の持続的な成長・発展」を目指す、横浜市の新たな中期計画です。

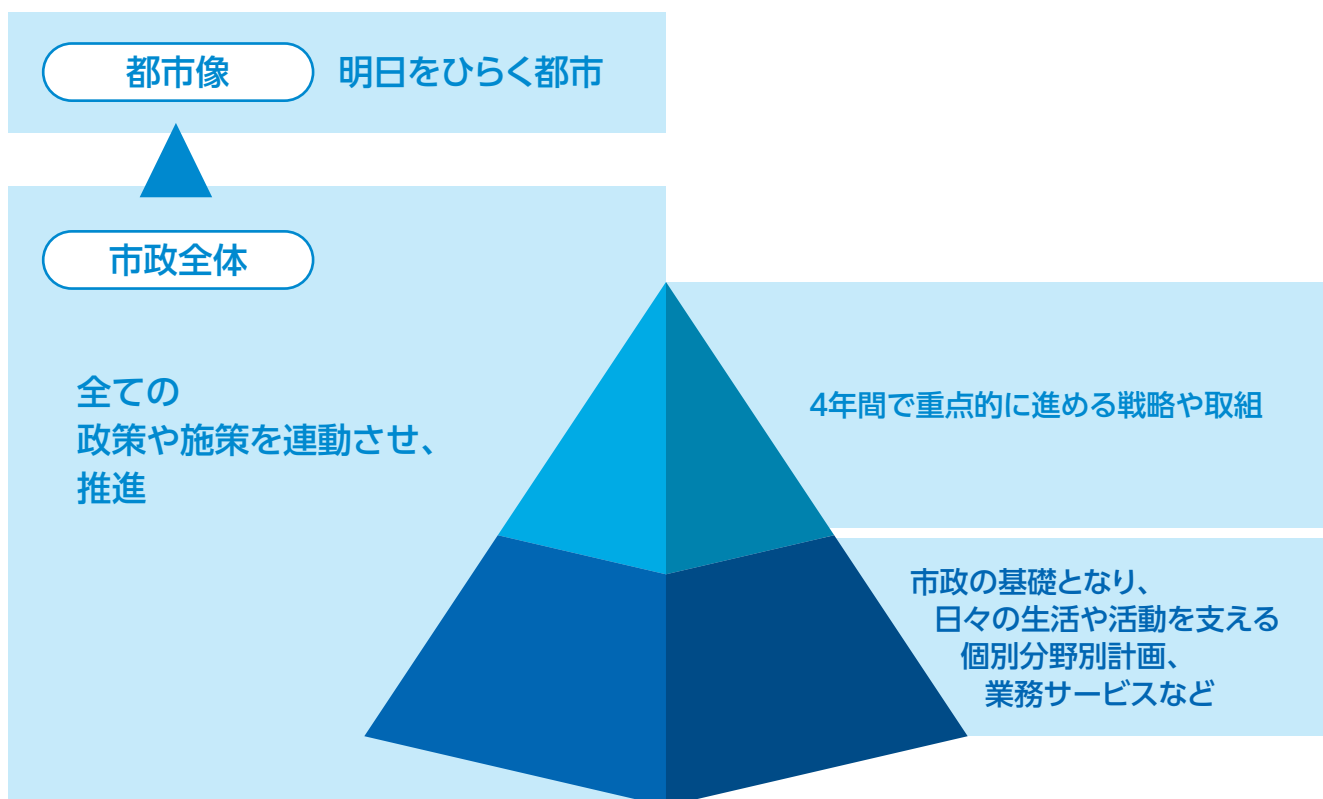
【 本計画の特徴 】

本計画は、現在と未来の両方の視点で都市の将来像と施策を捉え、「都市像」、「戦略」、「政策」、「施策」の体系化や、計画で予算を固定せず、行政・財政を変革させながら最適な事業を追求するとした前計画の考え方を継承しています。

加えて、より戦略的・体系的な計画へと高め、市民の皆様の実感を評価の軸に置いて、目標に向けて柔軟に必要な取組や手段を選択し、実践していくスキームとし、市民の皆様の暮らしの意識や状態を定期的に把握しながら、その向上等を目指して、4年間で重点的に進める戦略や取組を中心に記載しています。

【 市政の基調と目指す都市 】

平和や人権の尊重を市政の基調に据え、本計画を4年間の重要方針とし、個別分野別計画など横浜市が進める全ての政策や施策と連動させることにより、市民の皆様やこれから横浜を共に育む仲間となる皆様が、明るく元気に自分らしく生きることができ、横浜での暮らしや活動に価値を実感できる、そして世界に誇れる都市を目指していきます。



戦略

本計画では、戦略として、「市民生活の安心・安全×横浜の持続的な成長・発展」を掲げ、現状の課題解決に取り組みながら、未来につなぐ政策を推進し、「明日をひらく都市」の実現に取り組めます。



市民生活の安心・安全

あらゆる世代・多様な市民の皆様が
安心・安全を基本に、
自分らしくいきいきと暮らすことのできる
「住みたい・住み続けたいまち」を目指します

×

横浜の持続的な成長・発展

世界をリードする都市として
持続的に成長・発展することで
未来に希望を抱くことができる
「選ばれるまち」を目指します

計画期間

2026(令和8)年度から2029(令和11)年度までの4年間の計画とします。

計画体系

共にめざす都市像 OPEN×PIONEER 2070 YOKOHAMA 明日をひらく都市

「財政ビジョン」を市政運営の土台とし、「行政運営の基本方針」に基づき、
横浜市役所は組織・人材の力を存分に発揮し、市民や団体、企業の皆様と共に、
〈14の政策分野からなる総合的な取組〉と〈横浜の成長・発展に向けた横断的な取組〉により、
「明日をひらく都市」の実現を目指します。

戦略

市民生活の安心・安全 × 横浜の持続的な成長・発展

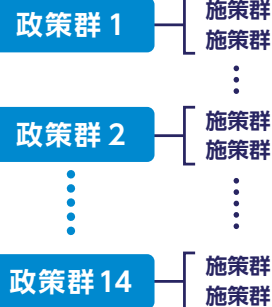
総合的な取組

政策の分野(14の政策群) ——— 33の施策群

毎日の安心・安全	暮らし・コミュニティ
防災・減災	交通
医療・保健	にぎわい・スポーツ・文化
こども・子育て	産業
教育	まちづくり
高齢・長寿	環境との共生
障害児・者	みどり

政策群は、政策分野に関連する取組を
まとめた施策群で構成

- 各施策群は個別分野別計画と連動
- アウトカム※1指標により進捗管理



横断的な取組

テーマに関連する施策群による横断プロジェクト

横浜の成長・発展に向けた「明日をひらく都市プロジェクト」

循環型都市への移行

観光・経済活性化

未来を創るまちづくり

政策・財政・行政が連動し、持続可能な市政運営を更に推進し、「施策の推進」と「財政の健全性の維持」を両立

市役所の改革「行政運営の基本方針」

～ リ・デザイン※2(市民サービス革新、地域支援の進化、行政事務・組織改革) ～

市政運営の土台「横浜市の持続的な発展に向けた財政ビジョン」

～ 「横浜市将来にわたる責任ある財政運営の推進に関する条例」に基づく基本方針とアクション ～

※1 アウトカム：施策・事業の実施により発生する社会的・環境的成果

※2 リ・デザイン：既に存在する仕組みやサービスなどを、新たな目的や状況に合わせて再度設計し直すこと

データ駆動型経営への本格移行

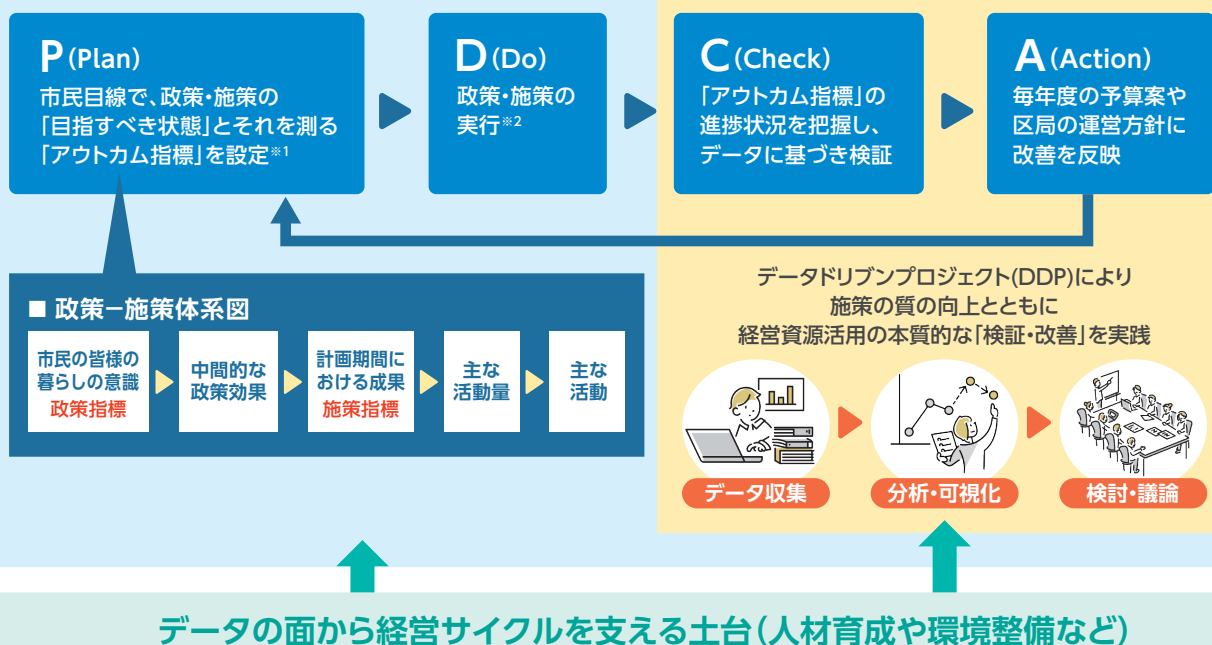
データ駆動型経営へ本格移行し、「政策・施策」の体系(政策・施策体系図)のもと、今後4年間で重点的に進める総合的な取組と、「明日をひらく都市プロジェクト」の横断的な取組を推進し、個別分野別計画等の推進とあわせ、市民生活の向上を目指します。

本計画をもとに進める今後4年間の重点的な取組や個別分野別計画に基づく取組など、横浜市が進める全ての施策や事業について、「市民目線の経営サイクル(PDCA)」のもと、市役所全体でガバナンスとマネジメントを発揮しながら推進します。

横浜市役所が実践するデータ駆動型経営

「市民目線の経営サイクル(PDCA)」の中で、「目指すべき状態」と「アウトカム指標」の進捗状況を適時適切に検証し、改善を図ることで、成果を発現

◆市民目線の経営サイクル



※1 計画策定段階で、市民目線を中心とした最上位の目標から、その実現に向けた中間的な政策効果、中期計画期間における成果までをバックキャストで設定し、可能な限り可視化

※2 最適な手法の選択、協働・共創の推進

こうした経営サイクルの一環として、計画策定時に、政策・施策について、

政策群 に **市民の実感** を測る政策指標

施策群 に **成果発揮** を目指す施策指標

を、それぞれアウトカム指標として設定しました。

なお、こうした指標のほかに、人口(転入超過数、生産年齢人口、出生率)、市内就業者数、市内総生産、市内CO₂排出量をはじめ、本計画での中間的な政策効果などの数値の動きも確認・留意しながら、戦略の推進に生かしていきます。

14の政策群と33の施策群

※政策群・施策群の取組の詳細はこちら



基礎自治体が対応すべき行政分野の取組を、14の政策群・33の施策群にまとめました。

政策群に設定した「市民の実感を測る政策指標」（現状値（令和7年度の実績））の向上等を目指し、施策群の取組を今後4年間で重点的に取り組んでいきます。

政策群

01 毎日の安心・安全



市民実感を測る政策指標

治安の良いまち
だと思いますか

66.8%

インフラ施設が安心・安全に利用できるまち

だと思いますか

78.0%

施策群

01 防犯、歩行者の安心・安全

02 インフラ施設の安全確保

主な取組

先端技術の活用による「暗がり」解消、通学路をはじめとした歩行者が安心して通行できる空間整備、インフラ施設の計画的な保全や長寿命化・更新等

主な指標

●夜間照度（灯りの充足率）	【目標値】	●通学路でのこどもの交通事故死亡者数	【目標値】
●防犯カメラの設置率	【100%】	●路面下空洞調査の完了率	【100%】
（自治会町内会新規要望充足率）		（4年間で調査が必要な延長に対する割合）	
●小学校周辺の防犯カメラ機能付き防犯灯設置率	【100%】	●送配水管の更新・耐震化の完了率（送配水管の耐震管率）	【39%】

政策群

02 防災・減災



市民実感を測る政策指標

災害に強いまちだと思いますか

45.6%

施策群

03 地震防災対策

04 風水害対策

主な取組

発災時の安全の確保、誰もが安心して避難生活を送ることができる避難所環境の整備、広域防災拠点の整備、浸水対策や河川護岸の整備、崖地の安全対策、多様な手段を活用した避難行動の支援や啓発活動

主な指標

●食料・飲料水備蓄量（地域防災拠点）	【目標値】	●トイレ洋式化率（市立小中学校）	【目標値】
（避難者3食3日分）		●広域支援部隊の現地司令施設の整備進捗率	【100%】
●重点対策地域 ^{*1} 内の地震ブレイカー設置率	【80%】	●自宅の災害リスクを知っていると答えた市民の割合（地震・風水害）	【75%以上】
●「浸水リスクが高く早期に整備する地区」の事業着手率	【100%】		

政策群

03 医療・保健



市民実感を測る政策指標

安心して適切な医療が受けられるまち
だと思いますか

77.9%

施策群

05 医療・救急・保健

主な取組

地域中核病院及び市大附属2病院・医学部等の再整備等の支援や検討、AI・デジタル技術の積極的な活用、地域完結型医療の推進、総合的ながん対策、生活習慣の改善や生活習慣病の発症予防、重症化予防、歯科口腔保健や食環境づくり

主な指標

●入院医療の市内完結率 急性期	【目標値】	●入院医療の市内完結率 回復期	【目標値】
●がん検診の受診者数	【84.5%】	●がん精密検査の受診率	【91%】
●緊急度が高い傷病者に対する救急車等の現場到着平均時間	【700,000人】	●健康に気を付けていると答えた市民の割合	【90%】
	【6分台を維持】		【維持・増加】

政策群

04 こども・子育て



市民実感を測る政策指標

子育てしやすいまちだと思いますか

57.0%

施策群

06 子育て支援

07 保育・幼児教育

08 こどもの体験機会づくりと居場所の充実

09 困難な状況にあるこども・家庭への支援

主な取組

一時預かり施策の充実、18歳までの小児医療費助成の無償化、待機児童^{*2}や保育の必要性が高い保留児童^{*3}の解消、年齢に応じた体験機会の充実、学校の長期休業期間中の昼食提供、困難を抱えるこどもやその家族を社会全体で見守り・支える環境づくり

主な指標

●小児医療費助成の対象者数	【目標値】	●一時保育・乳幼児一時預かり等の利用実人数	【目標値】
●待機児童数	【480,019人】	●こどもの体験機会数（スポーツ・文化・農を含む）	【20,000人】
●放課後キッズクラブ・放課後児童クラブにおける長期休業期間中の昼食提供利用者数	【0人】	●若者の社会参加に向けた支援による改善者数	【14,500回】
	【22,000人】		【7,700人】

政策群

05 教育



市民実感を測る政策指標

教育環境が充実しているまち
だと思いますか

57.4%

施策群

10 教育環境の整備（ソフト・ハード）

11 安心して生活できる学びの環境づくり

12 学力の向上

13 教職員

主な取組

空調設備やエレベータの設置・更新、中学校全員給食の着実な推進等ソフト・ハード両面からの教育環境整備、柔軟で多様な学びの環境づくり、「子ども主体の学び」による資質・能力の着実な育成、先端技術を取り入れた英語教育、教職員の養成・採用・育成・働き方の一体的な改革の推進

主な指標

●エアコン設置率（市立小中学校体育館）	【目標値】	●栄養バランスを考えて食事をしている児童生徒の割合	【目標値】
●学校が安心できる場所だと感じている児童生徒の割合	【100%】	●中学卒業段階でCEFR ^{*4} A1相当以上の生徒の割合	【80%】
●算数（数学）の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できている児童生徒の割合	【小6：87%】	●月の時間外在校等時間の平均時間	【85%】
	【中3：87%】		【30時間以下に抑制】

※1 重点対策地域：「横浜市内密集市街地における地震火災対策計画」に基づき、延焼危険性が特に高く、重点的に対策を推進する地域

※2 待機児童：国の集計方法に基づき、保留児童から横浜保育室入所者等を除いた児童 ※3 保留児童：保育所等に利用申込をしたが、保育所等を利用できていない児童

※4 CEFR：「外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠（Common European Framework of Reference for Languages）」の略称。外国語能力を6段階で評価する国際的な基準

14の政策群と33の施策群

※政策群・施策群の取組の詳細はこちら



政策群 06 高齢・長寿



市民実感を測る政策指標

高齢者にとって暮らしやすいまちだと思いますか

47.1% ↑

施策群 14 高齢者支援

主な取組

地域との協働を基盤とした買い物などの日常生活支援や、ボランティア、就労的活動などの社会参加支援、データ等を活用した健康づくり・介護予防、安心して暮らし続けられる仕組みづくり

主な指標

●介護予防・フレイル ^{*5} 対策等につながる通いの場等に参加した人数	【目標値】 【増加】 102,463人超	●今後(老後)の暮らしについて考えたり、誰かと話したことがある人の割合	【目標値】 【維持・増加】 87.3%以上
●医療専門職の個別的支援(ハイリスクアプローチ ^{*6})により、状態が維持・改善した高齢者の割合	【増加】 74.3%超	●特別養護老人ホームに要介護3以上で入所した人の平均待ち月数	【4か月】

政策群 07 障害児・者



市民実感を測る政策指標

障害児・者にとって暮らしやすいまちだと思いますか

30.9% ↑

施策群 15 障害児・者支援

主な取組

多様な暮らしや就労を支える取組、個々の状況に応じた本人の主体性を獲得する力を引き出し育てていく支援、市内の関係部局や、関係機関等との連携を強化し、乳幼児期・学齢期・青年期・成人期を通じた切れ目のない支援

主な指標

●グループホーム ^{*7} 利用者数	【目標値】 【7,000人】	●医療的ケア児の待機児童数	【目標値】 【0人】
●福祉施設から一般就労への移行者数	【1,200人】	●医療的ケア児・者等支援者養成数(養成研修修了者数累計)	【540人】

政策群 08 暮らし・コミュニティ



市民実感を測る政策指標

お住まいの地域は暮らしやすいまちだと思いますか

79.0% ↑

施策群 16 地域の生活環境

17 学び・交流を支える地域の情報拠点

18 多文化共生

19 困難を抱えた人の支援

主な取組

豊かな住環境の形成、望まない受動喫煙の防止、デジタル手法等の導入による地域活動に参加しやすい環境整備、地域図書館の老朽化対策、図書取次拠点の増設、新たな図書館整備、外国人が地域で活躍できる環境づくり、生活困窮等困難を抱えている人への早期支援

主な指標

●直近1か月で受動喫煙の機会があると答えた市民の割合	【目標値】 【33%以下】	●自治会町内会活動に係る補助金等のオンライン申請率	【目標値】 【70%】
●居住環境に配慮した住宅ストック ^{*8} 数	【2,790件】 (R6-10累計)	●本に触れる機会が増加したと答えた市民の割合	【70%以上】
●地域社会において多様な文化を理解し合うことが重要と考える市民の割合	【維持・増加】 78.4%以上	●自立に向けた支援につながった対象者数	【増加】 7,920人超

政策群 09 交通



市民実感を測る政策指標

鉄道やバスなどの公共交通機関が便利なまちだと思いますか

77.6% ↑

施策群 20 市民の移動手段の確保

主な取組

バスネットワークの維持や交通空白地の解消、地域公共交通への自動運転技術の導入支援、シェアサイクルなど多様で魅力的な移動手段の充実、高速鉄道3号線の延伸など交通ネットワークの強化や渋滞対策

主な指標

●バス運転士数充足率(2024年度の運転士の定員数に対する割合)	【目標値】 【100%】	●市営バス・地下鉄を安心して利用できると答えた市民の割合	【目標値】 【維持・増加】 79.4%以上
●交通空白地の解消(市域面積に対する交通空白地の割合)	【半減】	●シェアサイクル普及率	【2%】
●外出が増加した地区数	【53地区】	●市内の主要渋滞箇所数	【1割減少】

政策群 10 にぎわい・スポーツ・文化



市民実感を測る政策指標

観光やスポーツ・文化により、にぎわい・活力のあるまちだと思いますか

81.0% ↑

施策群 21 観光・MICE^{*9}

22 スポーツ

23 文化芸術

主な取組

戦略的な誘客プロモーション、MICE誘致、夜景を含めた水際線の魅力向上等を通じた戦略的な回遊性向上、クルーズ船誘致、地域に根ざしたスポーツの振興、大規模スポーツイベントの誘致開催、身近な地域での文化を通じた地域コミュニティの形成、様々な主体との連携による創造性を生かしたまちづくり

主な指標

●観光消費額	【目標値】 【5,500億円】	●観光入込客数	【目標値】 【4,000万人】
●延べ宿泊者数	【1,100万人泊】	●クルーズ船寄港数	【220回】
●横浜市はスポーツの参加機会や楽しめる環境が充実していると思う市民の割合	【75%以上】	●横浜市は文化の参加機会や楽しめる環境が充実していると思う市民の割合	【75%以上】

政策群 11 産業



市民実感を測る政策指標

経済的な活力があるまちだと思いますか **50.4%**

施策群 24 経済成長

25 地域産業

主な取組

サーキュラーエコノミー^{※10}やAI・半導体関連など将来の成長産業における企業集積の促進、革新的な技術を有するスタートアップ^{※11}の創出・成長・立地、中小企業の経営力・生産性向上や循環型経営への転換支援、国内最高レベルの横浜港の物流機能を生かした国際競争力の強化

主な指標

	【目標値】		【目標値】
●市内新規投資件数 (サーキュラーエコノミー・AI関連)	【24件】 (4年間累計)	●市内スタートアップ雇用者数	【9,000人】
●中小企業雇用者数 ^{※12}	【870,000人】	●商店街など身近に買い物や飲食ができる場所があると感じる市民の割合	【75%以上】
●支援施策により経営の改善・安定につながった中小企業数	【10,000社】 (4年間累計)	●超大型コンテナ船着岸数	【294隻/年】

政策群 12 まちづくり



市民実感を測る政策指標

魅力的なまちだと思いますか **69.4%**

施策群 26 都心部・臨海部のまちづくり

27 郊外部のまちづくり

主な取組

都心臨海部や新横浜都心において、世界を魅了する水際線の形成をはじめとする魅力的な都市空間の形成・活用や回遊性の向上、山下ふ頭の再開発、返還を契機とした新根岸地区におけるまちづくり、郊外部における地域の特色や歴史などの資源を生かした誰もがいきいきと暮らせる住まいづくり・まちづくり

主な指標

	【目標値】		【目標値】
●都心臨海部・新横浜都心での来街者滞在時間数	【8.0時間】	●みなとみらい地区の事業所数	【2,110社】
●水際線の来街者数	【1,100万人】	●みなとみらい地区の就業者数	【15.5万人】
●京浜臨海部における産業系の大規模建設投資件数	【22件】 (4年間累計)	●郊外部主要駅における来街者数の対前年変動率	【増加】 0%超

政策群 13 環境との共生



市民実感を測る政策指標

以前より環境に配慮した行動をするようになったと思いますか **71.6%**

施策群 28 カーボンニュートラル^{※13}

29 横浜グリーンエクスポ

30 循環型社会に向けた取組

主な取組

様々な主体と連携した「市民の行動変容」「事業者の行動変容」「脱炭素イノベーション」「市役所の率先行動」の推進、横浜グリーンエクスポの開催を通じた地球規模の課題共有と解決につなげる行動変容、再資源化^{※14}の促進、積極的なシェアリングサービスの利用等を通じた横浜らしい循環型都市への移行

主な指標

	【目標値】		【目標値】
●脱炭素の取組進捗率 (環境クレジット制度 ^{※15} への参加)	【100%】	●脱炭素の取組進捗率(市役所)	【74%】
●環境にやさしい行動に取り組んでいると答えた市民の割合	【維持・増加】 76.2%以上	●シェアリングエコノミー ^{※16} に参加していると答えた市民の割合	【25%以上】
●企業マッチング等による投入資源削減量 ^{※17}	【8,000t】	●サーキュラーエコノミーに関する事業への参加人数	【61,000人】

政策群 14 みどり



市民実感を測る政策指標

身近な自然環境が充実しているまちだと思いますか **68.8%**

施策群 31 公園・動物園

32 都市農業

33 みどりの保全と創出

主な取組

「やさしい公園づくり」や柔軟な運営による公園の一層の活用、プレイパークをはじめとするこどもの体験機会の拡充、3つの動物園の特性を伸ばした体験価値の向上、豊かな農のブランディングによる都市の魅力向上、郊外部に残された樹林地の保全、魅力を実感できる新たなみどり空間の創出

主な指標

	【目標値】		【目標値】
●公園等でのこどもの体験機会の創出数	【80箇所】	●市民の動物園に関する満足度	【維持・増加】 78.9%以上
●農に親しむ機会があると答えた市民の割合	【33%以上】	●市内産農畜産物直売所利用者数	【1,540千人】
●よこはまのみどりを魅力的と感じる市民の割合	【維持・増加】 76.5%以上	●都心臨海部の新たな魅力あるみどり空間の創出数	【3箇所】

※5 フレイル：からだところの機能が低下し、将来介護が必要になる危険性が高くなっている状態 ※6 ハイリスクアプローチ：健康リスクが高い対象者に対して、働きかけること

※7 グループホーム：当該項目では、障害のある人が地域の一般的な住居で家庭的な雰囲気のもと、共同生活を行う住まいの場のことをいう

※8 住宅ストック：市内に現存する住宅

※9 MICE：企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(インセンティブ旅行)(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)などの総称

※10 サーキュラーエコノミー：シェアや修理、リサイクルなどの取組を通じて資源を循環させ、新たな資源やエネルギーの投入を減少させていく経済モデル

※11 スタートアップ：一般的に「新しい企業であって」、「新しい技術やビジネスモデル(イノベーション)を有し」、「急成長をめざす企業」のことを指す

※12 中小企業雇用者数：法人市民税課税台帳データから、市内中小企業の市内従業者数を抽出して算出

※13 カーボンニュートラル：二酸化炭素などの温室効果ガスの人為的な発生源(事業活動や日常生活)による排出量と、建設資材等の原材料への二酸化炭素の再利用や森林吸収等による除去量とが均衡した、温室効果ガス排出量の実質ゼロを指す

※14 再資源化：ごみとして排出された廃棄物(プラスチック、紙、建設廃棄物など)を、そのまま処分せず、新たな製品の原材料やエネルギー源として再利用できる状態に加工する活動

※15 環境クレジット制度：企業等が温室効果ガス削減量を取引できる制度

※16 シェアリングエコノミー：消費者庁の「あんぜん・あんしんシェアリングエコノミー利用ガイドブック」によると、インターネットを介して個人と個人・企業等との間で活用可能な資産(場所・モノ・スキル等)をシェア(売買・貸し借り等)することで生まれる新しい経済の形

※17 投入資源削減量：焼却や埋立処理していたものを、リユースやリサイクル等により循環させることで、製品に新たに投入する資源を削減した量

明日をひらく都市プロジェクト

「政策 - 施策」の体系のもと、個別分野別計画等の推進も含め、政策群に位置付ける今後4年間で重点的に進めるみどり・農・海等豊かな自然環境など、横浜のポテンシャルや魅力をより高め、横浜の更なる持続的な成長・発展につ

01

循環型都市への移行

～生産・消費・再資源化のあらゆるステージで
循環型都市を目指す「YOKOHAMA CIRCULAR LINK」～

環境・経済の両面から持続可能な都市を実現するため、サーキュラーエコノミー（循環経済）の取組を進めます。サーキュラーエコノミーは、資源やエネルギーの循環利用により環境負荷を減らし、カーボンニュートラルの実現にも貢献します。また、新たなサービスや技術を生み出し、経済の活性化にもつながります。

横浜ならではの都市の特性を生かした「横浜らしいサーキュラーエコノミー」の取組を推進し、持続可能な循環型都市を目指すとともに、この取組を横浜グリーンエクスポ等を通じて世界に発信します。

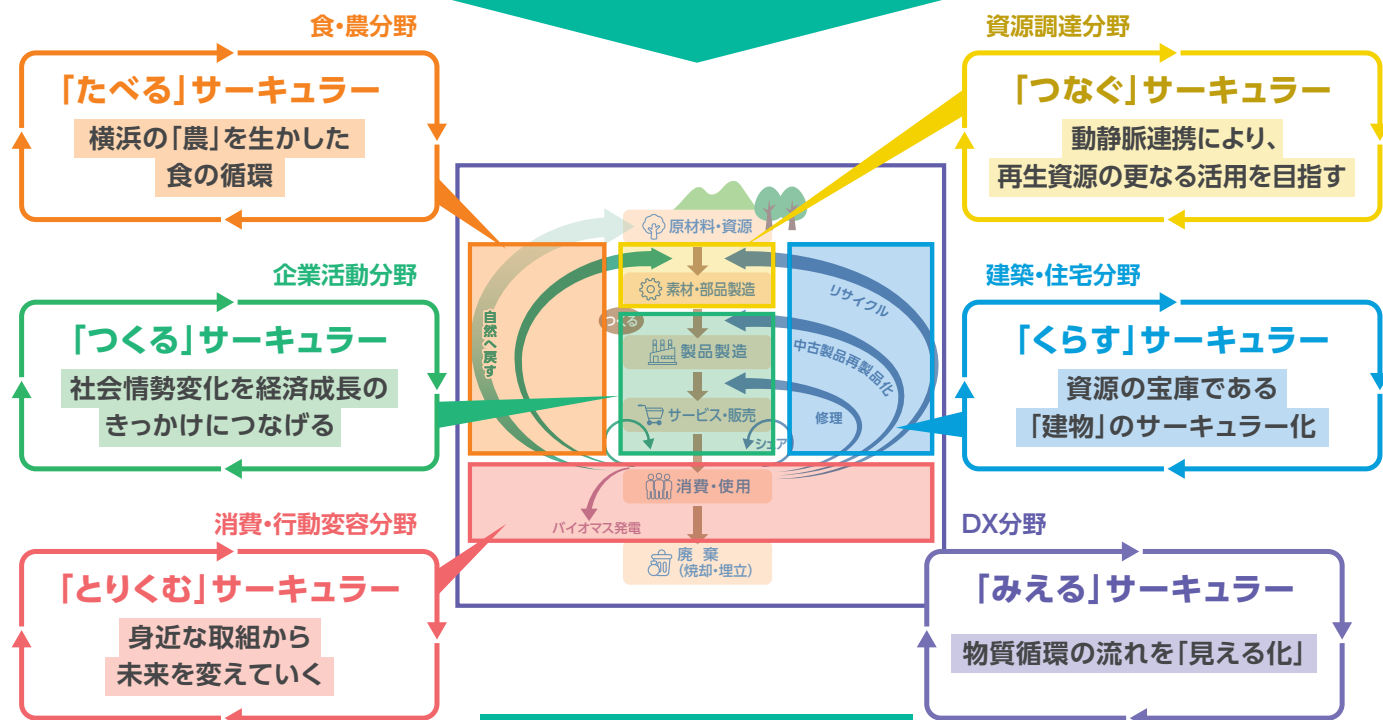
横浜の強み・特性

大規模

多様性

市民意識

「横浜らしい」循環型都市へ



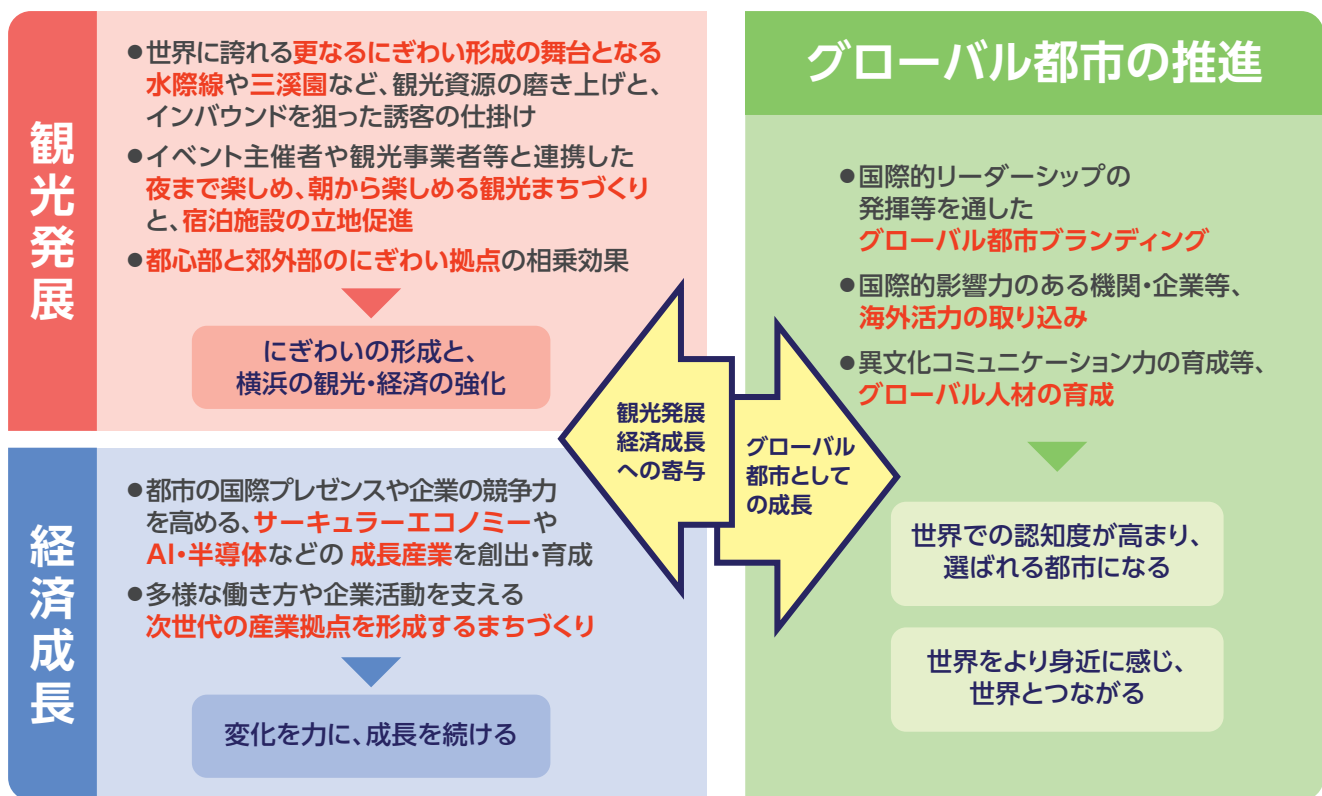
サーキュラーエコノミーが国際的な潮流となっていく中、
これらの取組を広く世界へ発信し、
アジアを代表する循環型都市へ

総合的な取組を市民目線で推進することはもちろん、先人たちが築き、維持・継承してきた都市基盤や経済環境、
ながるテーマについて、「明日をひらく都市プロジェクト」として、3つのテーマで施策横断的に取り組みます。

02 観光・経済活性化 ～にぎわいが経済を育み、世界とつながる横浜へ～

サーキュラーエコノミーやAI・半導体等、最先端技術の進展などの世界潮流を見据えるとともに、世界に誇れる水際線や三溪園をはじめとした、観光都市・横浜を代表する資源を生かして、横浜の観光・経済における強み・ポテンシャルを最大化するとともに、未来に向けた産業創出に取り組み、経済の持続的な成長・発展につなげます。

さらに、積極的に海外活力の取り込み、横浜ブランドの海外への発信を進め、国内外から人や企業が集まる、グローバル都市横浜を目指します。

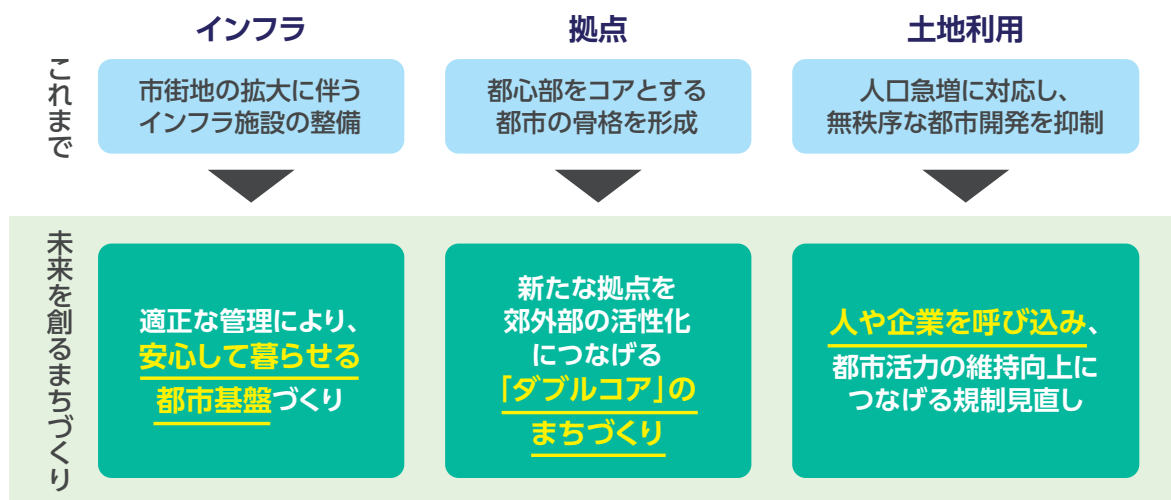


観光発展 + 経済成長 + グローバル都市の推進

3つの取組を連動して進め、市民が世界に誇れる都市へ

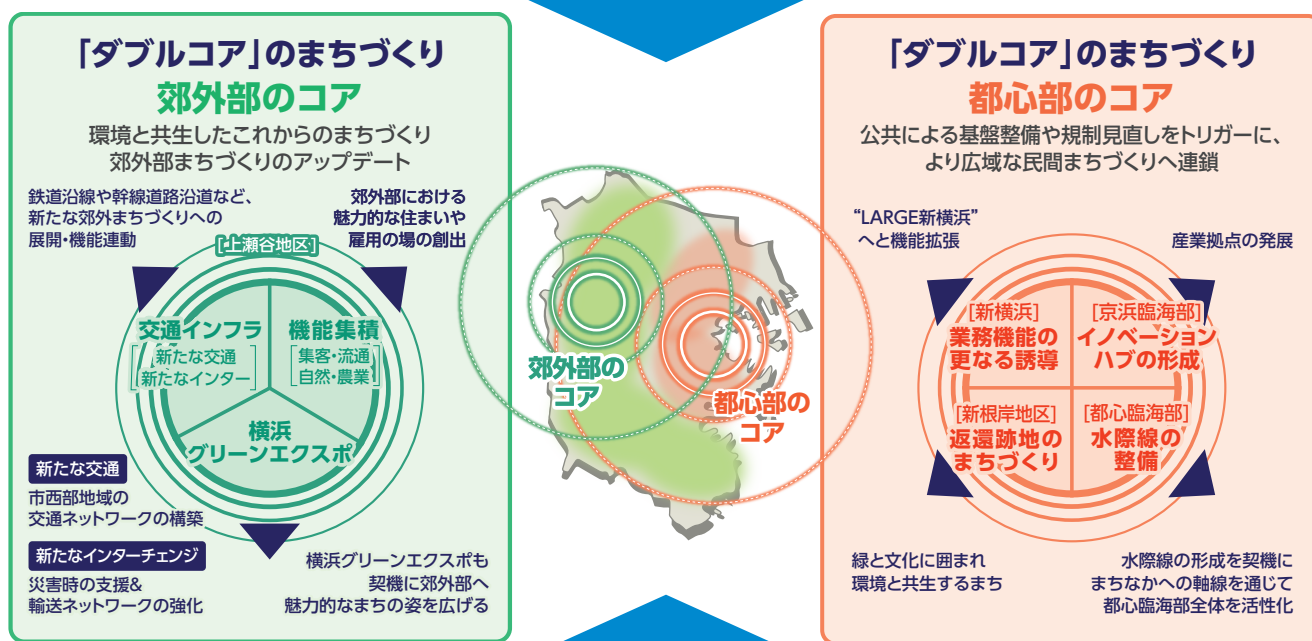
人口減少社会においても持続的に成長・発展する都市を目指して、未来を創るまちづくりを進めます。

従来の都心部だけでなく郊外部にも活性化の拠点を創り、これまで以上に郊外部のまちづくりに力を入れていきます。あわせて、人や企業を呼び込み、都市活力の維持向上につなげる全市的な土地利用規制の見直しや、成長の土台となる市民の皆様の安心・安全な暮らしを守る基盤づくりを進めます。



安心して暮らせるまちづくり

まちの基礎であるインフラ施設（上下水道・道路等）を、着実に維持管理します。
将来の大規模災害にも備え、市民の皆様の安心・安全な暮らしを守ります。



規制見直しを通じた機能誘導

土地利用規制を時代の変化や社会ニーズに合わせて全市的に見直します。
地域ごとの特性に応じた、人や企業を惹きつけ活力ある魅力的な市街地を形成します。

行財政運営

政策分野の総合的な取組や横断的な取組を進めるに当たって、これらを支える土台となる取組です。政策推進・行政運営・財政運営を密接に連動させることで、持続可能な市政運営を更に強化します。

「施策の推進と財政の健全性の維持」を両立させることを目指し、限られた経営資源を最大限に活用しながら、将来にわたって安定した行政サービスを提供できる体制・仕組みを構築し、市民の皆様の信頼に応える持続可能な市政運営を実現します。

1 行政運営

少子高齢化社会の進展や、生成AI等の最新技術の発展など、社会の状況が大きく変化する中で、横浜市では一層、イノベーションを加速していく必要があります。

デジタル技術の活用をはじめとした便利で安心な市民サービスの向上、BPR^{※1}による業務効率化等を目指す行政運営の最適化を両輪として、行政運営を進めていきます。

また、職員が働きがいを実感できる職場をつくるために、戦略的な人材育成の推進や、働き方改革、就業環境の更なる向上等を進め、市役所のチーム力向上につなげます。

01 便利で安心な市民サービス

取組1(1)	「行かない」、「待たない」、「書かない」、「回らない」窓口の実現
取組1(2)	AI活用による市民サービス向上
取組1(3)	地域課題の解決に向けた取組強化
取組1(4)	公民連携で実現する社会課題解決

02 行政運営の最適化

取組2	業務の効率化と生産性向上
取組3(1)	効率的な組織体制の構築
取組3(2)	戦略的な人材育成と働きがいのある職場づくり
取組4	歳出改革の推進

DX
推進

横浜市が推進するDX^{※2}の事例と4年後の姿(ビジョン)

※1 BPR : Business Process Re-engineeringの略称。既存の業務内容や業務フロー、組織構造などを見直し、再構築すること

※2 DX : Digital Transformationの略称。デジタル技術やデータを用いて、社会や生活の形を変えること

2 財政運営

横浜を取り巻く社会経済情勢がかつてないスピードで変化する中、市民の皆様の新たなニーズにも柔軟かつ的確に応えつつ、多様化・複雑化する課題等に対し、常に中長期的な財政運営の展望を持ちながら、持続可能な財政運営を推進する必要があります。

そのため、より効果的・効率的な財政運営を目指し、前例にとらわれることなく施策の質の向上や事業の新陳代謝を積極的に進めるなど、「創造・転換」を理念とする歳出改革に取り組むことで、2029(令和11)年度に実施する2030(令和12)年度予算案の編成で減債基金^{※1}の臨時的活用からの脱却を実現します。

01 市民ニーズに柔軟かつ的確に応え続けるための持続可能な財政運営の推進

取組1	減債基金の臨時的な活用からの脱却に向けた歳出改革の推進 (施策・事務事業の最適化、財源確保等の徹底)
取組2	将来を見据えた税源涵養の取組等の推進 (税財源基盤の強化、ふるさと納税の推進等)
取組3	公平公正な税務行政の推進と市税収入等の確保

02 将来世代に先送りしない適正な債務管理と投資管理

取組1	計画的・戦略的な市債活用と残高管理
取組2	計画的・戦略的な投資管理の推進
取組3	市場から信頼される市債の安定的かつ円滑な発行
取組4	特別会計 ^{※2} ・企業会計の更なる健全化の推進

03 将来を見据えたファシリティマネジメント^{※3}(資産の総合的なマネジメント)の推進

取組1	資産の適正化の推進
取組2	公共施設の適正化の推進
取組3	公共工事における建設業の働き方改革の推進、 適正な発注による品質確保

04 誰もがわかりやすく共感できる財政広報の展開・情報発信

取組1	世代やニーズに応じた、わかりやすく利活用しやすい財政広報の展開
取組2	地方税財政制度の充実に向けた課題提起

※1 減債基金：市が発行した市債の将来の償還(返済)等に備えて、計画的に資金を積み立てるために設置している基金

※2 特別会計：港湾整備事業費、中央卸売市場費、中央と畜場費、市街地開発事業費、自動車駐車場事業費、新墓園事業費、風力発電事業費

※3 ファシリティマネジメント：土地・建物等を経営資源と捉え、価値の最大化と公共施設の機能・サービスの持続的な維持・向上の視点から、保有のあり方・維持管理・利活用を最適化すること

「特別市」の早期法制化の実現に向けて

政令指定都市制度特有の課題を抜本的に解決し、厳しい社会経済情勢においても、将来にわたってより良い行政サービスを市民の皆様提供していくためには、政令指定都市制度に代わる新たな大都市制度「特別市」の実現が必要です。

大都市横浜が抱える主な課題

- 市と県の二重行政 ●不十分な税制上の措置
- 人口減少社会の到来・超高齢化の進行 ●公共施設の老朽化対策

新たな大都市制度「特別市」が課題を解決

- 市のサービス** 国以外の仕事は全て横浜市が担います
- 市の税金** 横浜市の役割・仕事量に見合った公平な税制にします
- 近隣市町村** 県や近隣市町村と協力して行政運営を行います
- 区** 区役所機能・住民自治を強化します



詳しくはこちら

横浜グリーンエクスポ

横浜グリーンエクスポは、瀬谷区・旭区の旧上瀬谷通信施設を舞台に開かれる、世界の花・緑や、環境にやさしい未来をつくる最新技術が集う国際的な博覧会です。気候変動という地球規模の課題の解決に向けて、「環境と共生する未来のグリーン社会」の在り方を、横浜から世界に向けて発信します。

公式マスコットキャラクター
トウネットウンク



©Expo 2027

開催概要

- 名 称 : 2027年国際園芸博覧会
- 正 式 略 称 : GREEN×EXPO 2027 (グリーンエクスポニーゼロニーナ)
- 開 催 者 : GREEN×EXPO協会 (公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会)
- 開 催 場 所 : 旧上瀬谷通信施設 (瀬谷区・旭区)
- 開 催 期 間 : 2027年3月19日(金) ~ 9月26日(日) (192日間)
- テ ー マ : 幸せを創る明日の風景 ~Scenery of the Future for Happiness~
- 博覧会区域 : 約100ha (会場区域80ha)
- ク ラ ス : A1 (最上位) クラス (AIPH承認+BIE認定)
- 参 加 者 数 : 1,500万人 (有料来場者数 : 1,000万人以上)

計画の策定経過

- 2025(令和7)年9月10日 「新たな中期計画の基本的方向」公表
- 2025(令和7)年12月3日 素案の公表
- 2026(令和8)年5月13日 原案の公表
- 2026(令和8)年6月5日 策定



横浜市

横浜市中期計画 2026-2029
【概要版】
横浜市政政策経営・国際戦略局経営戦略課

〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10
TEL (045) 671-2010
FAX (045) 663-4613



本編はこちら

令和8年6月 写真提供 : 横浜市観光協会 (表紙の風景写真)、ピクスタ (人物写真の一部)



横浜グリーンエキスポにおける「レッツグリーンアクション」及び 「球根ミックス花壇づくり」の募集等について【情報提供】

1 事業の趣旨

横浜グリーンエキスポについて、環境に関するワークショップ等を行う「レッツグリーンアクション」の企画募集及び市内の5会場で同時に球根を植える「球根ミックス花壇づくり」の参加者募集を開始します。また、民間施設や公共施設等で「機運醸成ステッカー」の掲出を開始しますので、お知らせします。

2 お願いしたいこと

【区連長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

3 「レッツグリーンアクション」の企画募集について

(1) 概要

環境活動に取り組んでいる又は始めてみたい団体・個人等の皆様から、横浜グリーンエキスポの会場で実施いただく環境に関するワークショップ等を募集します。

(2) 募集する企画例

ワークショップ、体験型展示、園芸教室、創作体験 など

(3) 対象・組数

環境活動に取り組んでいる又は始めてみたい団体、個人、企業、学校等 100 組程度

(4) 募集期間

令和8年7月21日（火）～9月4日（金）

(5) 申込方法

インターネットの応募フォーム

(<https://expo2027yokohama.or.jp/learn-enjoy/letsgreen/>)

(6) お問い合わせ先

「環共」プログラム事務局

〔電話〕 03-6268-8676 ※受付時間：平日・午前9時～午後5時30分

〔メール〕 info@letsgreenaction.expo2027yokohama.or.jp



4 「球根ミックス花壇づくり」の参加者募集について

(1) 概要

市民参加による花壇づくりを通して、市民の皆様とともにつくる横浜市出展を目指します。

ギネス記録に挑戦し、横浜グリーンエキスポの開催に向けた機運醸成を図るため、花壇づくりへの参加者を募集します。

(2) 募集人数

2,100 名

(3) 募集期間

令和8年7月27日（月）～10月9日（金）

(4) 申込方法

詳細はホームページを確認いただき、応募をお願いいたします。

(<https://yokohama-field-greenexpo2027.city.yokohama.lg.jp/event/>)



5 「機運醸成ステッカー」の掲出について

地域や企業の皆様の協力を得ながら、まち全体でエキスポへの期待感や応援ムード、盛り上がりを醸成するため、市民や来街者など多くの方々が訪れる民間施設等に8月頃から順次配付し、掲出いただく予定です。



6 送付資料

- ・「レッツグリーンアクション」募集チラシ
- ・「球根ミックス花壇づくり」募集チラシ

仕様： 11cm × 11cm 両面シール
製作枚数： 10万枚
掲出期間： 令和8年8月上旬～
横浜グリーンエキスポの終了日
(令和9年9月26日) まで

3 について

脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課
担当 藤原、木下
電話 045-671-4627 /FAX 045-212-1223
メール da-greenexpo@city.yokohama.lg.jp

4 について

みどり環境局戦略企画課
担当 野本
電話 045-671-2032 /FAX 045-550-4093
メール mk-expo-ryokukasai@city.yokohama.lg.jp

5 について

脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課
担当 西尾、雨宮
電話 045-671-4627 /FAX 045-212-1223
メール da-greenexpo@city.yokohama.lg.jp

GREEN×EXPO 2027

YOKOHAMA JAPAN

地球と共に「環共」プログラム



公式マスコットキャラクター
トゥントゥンク

企画募集!

レッツ グリーンアクション

あなたの環境への取組をEXPO来場者につなげよう!

企画募集期間 2026年 7月21日(火)～9月4日(金) 17時まで

ワークショップや体験型展示等を通じて、
来場者に環境に対する"活動"や"想い"を伝え、
横浜グリーンエクスポから環境活動に
取り組む人々の輪を広げる企画を募集します。

エコ
ワークショップ



フィールド
ワーク



ロスフラワー
アート



環境教育
ワークショップ



園芸教室



レッツグリーンアクション

募集概要

募集する企画例

ワークショップ、
体験型展示、
園芸教室、創作体験等

対象

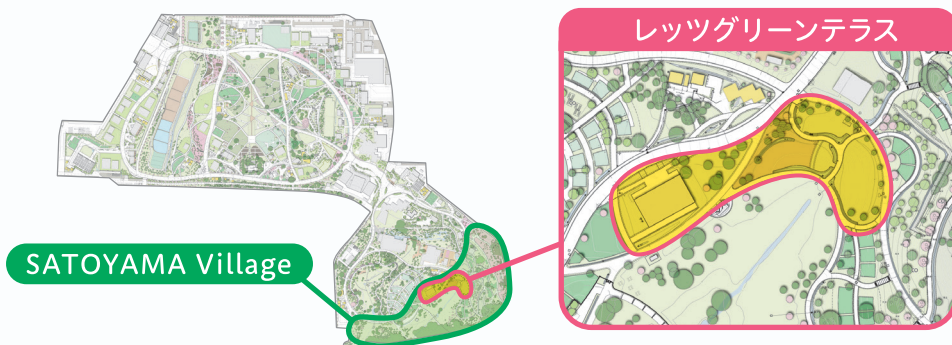
環境活動を行っている又は環境活動を始めたい
団体、個人、企業、学校等
応募組数：100組程度

応募方法

応募フォームからエントリー 詳細はウェブページをご覧ください。
※ウェブページに記載している募集要項等を必ずご確認の上、ご応募ください。

活動する場所

SATOYAMA Village 内「レッツグリーンテラス」



©Expo 2027



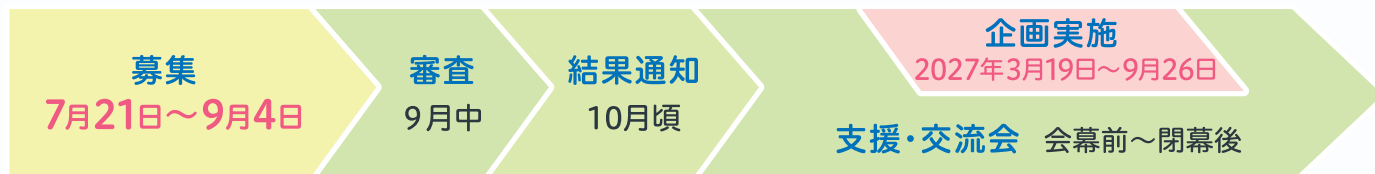
公式マスコットキャラクター
トウネットウク

募集説明会

日付	時間	場所
7月28日(火)	19:00～20:00	象の鼻テラス(神奈川県横浜市中区海岸通1丁目)
8月1日(土)	14:00～15:00	神奈川県厚木合同庁舎(神奈川県厚木市水引2丁目3-1)
8月8日(土)	14:00～15:00	品川インターシティホール会議室(東京都港区港南2丁目15-4)

※終了時刻は見込みです。 ※事前の申込みが必要です。詳細はウェブページをご覧ください。
※企画応募にあたっては、募集説明会の参加は必須ではありません。

スケジュール(予定)



詳細・応募はこちらから

レッツグリーンアクション 検索

<https://expo2027yokohama.or.jp/learn-enjoy/letsgreen/>

問合せ先 「環共」プログラム事務局

TEL 03-6268-8676

E-mail info@letsgreenaction.expo2027yokohama.or.jp

受付時間 9:00～17:30(土日、祝日を除く) ※7月13日受付開始予定

2027年国際園芸博覧会

横浜・上瀬谷 2027.3.19—9.26

International Horticultural Expo 2027, Yokohama, Japan
City of Yokohama, Kanagawa Prefecture Mar.19-Sep.26 2027

主催

GREEN×EXPO協会

(公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会)



OFFICIAL
CHALLENGE



© Expo 2027

GREEN×EXPO 2027
公式マスコットキャラクター
トゥンクトゥンク



横浜グリーンエキスポ 連携イベント ギネス世界記録®に挑戦！ 球根ミックス花壇づくりで仲間になろう！

挑戦内容

同時に球根を植えた最多人数(複数会場)

本挑戦記録におけるオンラインによる同時中継での挑戦は世界"初"の挑戦記録となる予定です

開催日

2026年
11月14日(土)

募集期間

2026年
7月27日(月)～10月9日(金)まで



←[応募はコチラから]
詳細はホームページをご確認ください

横浜市民活動フィールド



球根ミックス花壇とは？

2017年の全国都市緑化よこはまフェアに合わせ、山下公園で始まった花壇づくりです。現在は市内各所の公園で実践されています。チューリップやスイセン、ムスカリなどの春咲き球根を混ぜて植えることで、開花時期の異なる花が次々に咲き、長く楽しめるのが特徴です。時期ごとに異なる景色を楽しめます。

ギネス世界記録への挑戦内容・参加資格

横浜グリーンエクスポ会場を中心に、横浜公園・新横浜公園・金沢自然公園・反町公園をオンライン中継でつなぎ、一斉に球根を植える人数でギネス世界記録に挑戦します。



参加資格

グリーンエクスポ会場
横浜公園／金沢自然公園／反町公園

小学5年生以上・横浜市内に
在住、在学、在勤の方

新横浜公園

小学5年生以上、
市外からのご参加も可能

いよいよ、「横浜グリーンエクスポ」の開幕が近づいてまいりました。市民の皆様一人ひとりの参加によって作りあげるこのエクスポが、環境への意識や行動を見つめ直すきっかけとなり、心に残り続ける万博となるよう、ともに歩んでいきたいと思ひます。

その大きな一歩となるのが、今回の花壇づくりです。上瀬谷のグリーンエクスポ会場をはじめ、市内5会場をオンラインで結び、一斉に球根を植え、ギネス世界記録に挑戦します。同じ時期に、同じ思いで植えられた球根は、来春、エクスポ会場を彩る花の風景へとつながっていきます。自らの手で万博の景色づくりに関わることのできる、またとない機会です。

ぜひご家族やご友人とともにご参加いただき、この日ならではの特別な体験を共有しながら、「横浜グリーンエクスポ」をともに創り上げてまいりましょう。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



横浜市長 山中 竹春

このチラシに関するお問合せ：横浜市脱炭素・GREEN×EXPO推進局
E-mail: mk-yokohama-field@city.yokohama.lg.jp

主催：横浜市、GREEN×EXPO 2027 横浜市出展 横浜市市民活動フィールド実行委員会
共催：公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会
公益財団法人横浜市スポーツ協会



©EXPO 2027

金沢区地区連合町内会長 様
金沢区自治会町内会長 様

金沢区福祉保健課長

令和 8 年民生委員・児童委員及び主任児童委員候補者の推薦について（依頼）

時下、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、令和 8 年 7 月 1 日付委嘱の民生委員・児童委員の選任につきまして、ご協力いただきありがとうございました。

令和 8 年は、引き続き 12 月に欠員補充を行います。つきましては、欠員がある自治会町内会におかれましては、各地区推薦準備会及び連合地区推薦準備会を開催し、候補者を推薦していただきますよう、各自治会町内会長のご協力をお願いいたします。

なお、令和 8 年につきましては、欠員地区及び増員が必要な地区のみの推薦となり、任期は一斉改選（令和 10 年 11 月 30 日）までとなります。

1. 令和 8 年 12 月 1 日付委嘱

- (1) 推薦依頼 7 月下旬（該当自治会町内会へは、個別に依頼書類を送付）
- (2) 推薦準備会開催 8 月から 9 月
- (3) 推薦関係書類提出期限 9 月 18 日（金）

担当 金沢区役所福祉保健課
根本、水野、山木
電話 788-7820 FAX 784-4600

令和 8 年 民生委員・児童委員及び主任児童委員候補者の推薦について【協力依頼】

1 趣旨

令和 8 年 7 月 1 日付・12 月 1 日付の民生委員・児童委員及び主任児童委員の欠員補充及び増員につきまして、候補者を推薦していただくよう、各自治会町内会長の御協力をお願いします。

2 お願いしたいこと

【区 連 長】ご承知おきください。

【地区連長】該当の地区の地区連長あて資料を送付します。

主任児童委員の候補者にかかる連合地区推薦準備会を開催し、候補者を推薦くださるようお願いします。

【単位会長】該当の自治会町内会の会長あて資料を送付します。

民生委員・児童委員の候補者にかかる地区推薦準備会を開催し、候補者を推薦くださるようお願いします。

3 依頼事項

- (1) 推薦準備会の開催
- (2) 民生委員・児童委員、主任児童委員候補者の推薦
- (3) 推薦書類の作成及び区への提出

※ 具体的な手続きについては、各区福祉保健課からご案内いたします。

	自治会町内会	地区連合町内会
推薦の対象	民生委員・児童委員	主任児童委員
推薦人の選任	・自治会町内会、地区民生委員児童委員協議会の代表の方を含め、5 人から 10 人以内の推薦人を選任してください。	・地区連合町内会、地区民生委員児童委員協議会の代表の方を含め、5 人から 10 人以内の推薦人を選任してください。
推薦準備会の開催	・推薦人のうち過半数の方の出席が必要です。自治会町内会、地区民生委員児童委員協議会の代表の方は必ずご出席ください。	・推薦人のうち過半数の方の出席が必要です。地区連合町内会、地区民生委員児童委員協議会の代表の方は必ずご出席ください。
推薦準備会の開催時期	令和 8 年 7 月 1 日付け委嘱の場合 ⇒ 令和 8 年 3 月～4 月 令和 8 年 12 月 1 日付け委嘱の場合 ⇒ 令和 8 年 8 月～9 月	
書類の作成 区への提出	・候補者の履歴書、会議録を作成のうえ、区にご提出ください。	

<裏面あり>

4 候補者推薦にあたってご留意をお願いしたい事項

- (1) 候補者の選出にあたっては、資料3「資格要件と推薦手続」をご確認ください。
- (2) 候補者の方に対し、民生委員・児童委員及び主任児童委員の活動や役割についてご説明をお願いします。ご説明にあたっては、資料4「民生委員の活動紹介チラシ」等をご活用ください。
- (3) 推薦準備会については、自治会町内会（地区連合町内会）の代表の方と地区民生委員児童委員協議会の代表※の方は、必ず推薦人としてください。

この両者が出席しない場合は、推薦準備会が開催できないこととしていますので、ご留意ください。

また、推薦準備会の開催においては、公正な運営をお願いいたします。

※民生委員・児童委員の役割や実際の活動等に関するご説明やご質問等へご対応いただくため、地区民生委員児童委員協議会の代表の方の出席は必須でお願いします。

- (4) 年齢要件の特例に該当する委員（民生委員・児童委員のみ）が活動されている地区におかれましては、引き続き候補者を探していただきますよう、御協力をお願いします。

5 添付資料

- 資料1 令和8年 民生委員・児童委員、主任児童委員推薦関係日程
- 資料2 民生委員・児童委員、主任児童委員の役割と活動
- 資料3 横浜市民生委員・児童委員、主任児童委員の資格要件と推薦手続
- 資料4 民生委員の活動紹介チラシ

担 当：健康福祉局地域支援課 阿部
電 話：045-671-4046
F A X：045-664-3622
メー ル：kf-chiikishien@city.yokohama.lg.jp

令和 8 年 民生委員・児童委員、主任児童委員推薦関係日程

		令和 8 年 1 2 月 1 日付け委嘱
		①民生委員・児童委員：欠員補充及び増員 ②主任児童委員：欠員補充及び増員 任期・・・令和 8 年 1 2 月 1 日から 令和 1 0 年 1 1 月 3 0 日まで
7 月	上旬	連合・地区へ推薦依頼
	中旬	
	下旬	
8 月	上旬	連合・地区推薦準備会開催
	中旬	
	下旬	
9 月	上旬	自治会・町内会から区への書類提出締め切り（9 / 1 8）
	中旬	
	下旬	
10 月	上旬	区より市推薦会に候補者内申
	中旬	
	下旬	
11 月	上旬	市推薦会、市審査会開催
	中旬	厚生労働大臣あて推薦
	下旬	
12 月	上旬	令和 8 年 12 月 1 日付け委嘱
	中旬	
	下旬	

民生委員・児童委員、主任児童委員の役割と活動

【民生委員・児童委員、主任児童委員とは】

- 厚生労働大臣から委嘱され、横浜市長が担当区域を定める、無報酬の非常勤特別職の地方公務員です。

【民生委員・児童委員、主任児童委員の役割等】

- 民生委員・児童委員は、担当する地域内で、住民から様々な生活上の困りごとや心配事に関する相談に応じ、サポートするとともに、必要な支援を受けられるよう地域ケアプラザなどの専門機関につなぐ役割を担っています。市内で約 4,000 人の方が活動しています。
- 主任児童委員は、子どもや子育ての支援を主に担当する民生委員・児童委員です。地区担当の民生委員・児童委員、学校や子どもの福祉に関する機関と連携して、様々な児童問題について取り組んでいます。市内で約 500 人の方が活動しています。

【民生委員・児童委員の活動】

- 日常的な見守り、訪問活動を通じて、担当地区内の住民の生活実態や支援を必要とする方などを把握します。
- 地域住民から相談を受け、介護や子育て支援等の福祉サービスに関する情報提供し、必要に応じて区福祉保健センターや地域ケアプラザ等につなぎます。
- 活動を通じて得た課題や改善点について、社会福祉関係者や行政機関と情報を共有します。
- 区福祉保健センターその他関係機関の業務に協力をお願いします。

【主任児童委員の活動】

- 主に、地区を担当する民生委員・児童委員と連携して学校、児童相談所等、関係機関との連絡・調整を行います。
- 民生委員・児童委員と連携して、子育て支援活動等を行います。
- 区福祉保健センターその他関係機関の業務に協力をお願いします。

【活動費の支給・会費負担】

- 給与は支給していません。活動にかかる交通費等として、活動費を支給しています。
- 民生委員・児童委員は、委嘱と同時に民生委員児童委員協議会及び社会福祉協議会の会員となり、会費をご負担いただきます。（※活動費と会費負担については詳細裏面）

【秘密を守る義務があります】

- 民生委員法により、住民の個別の相談をお受けするため、秘密を守る義務があり、委員を辞めた後も、秘密を守る必要があります。

【地区民児協に所属し、相談・協力して活動します】

- すべての民生委員・児童委員は、概ね連合町内会の区域単位で組織された、地区民生委員児童委員協議会（地区民児協）に所属します。地区民児協では、関係機関との連絡・調整、日ごろの活動についての情報交換や地域の福祉課題の検討などを行っています。

【参考】活動費の支給と会費のご負担について

【活動費の支給】

年間 70,200 円

支援をしている方への訪問や連絡、研修参加など、民生委員・児童委員活動を行う際にかかる交通費や通信費等に充てるための活動費を、区役所から年 2 回に分けて支給します。

なお、活動費は給与や報酬ではなく実費弁償であるため、確定申告等は不要です。

【会費の負担】

年間 6,000 円 （令和 8 年度の場合）

横浜市民生委員児童委員協議会（市民児協）は、活動に役立つ情報提供や会員同士の情報交換、研修を行うとともに、退任時の慰労金や疾病の際の見舞金等を支給する互助事業などを行っています。

また、市社会福祉協議会（市社協）・区社会福祉協議会（区社協）でも、情報提供・情報共有、活動の後方支援等により、民生委員・児童委員の活動を支えています。

これらの組織は会費や市補助金で運営されており、民生委員・児童委員は就任と同時に会員となるため、会費をご負担いただいています。

【会費の内訳・使途】

横 浜 市 共 通	項目	金額（円）	
	市民児協会費	2,180	主に、区・地区民児協事業費に充当
	市民協互助事業会費	1,600	民生委員の公務疾病見舞金や死亡弔慰金、退任慰労金等（互助事業給付金）に充当
	市民児協周年事業積立金	100	周年事業費としての積立金に充当
	全民児連会費	700	全国民生委員児童委員連合会の分担金（全民児連事業費）に充当
	全国互助共励会費	1,900	全民児連の互助事業（民生委員の死亡、傷病、災害にかかる弔慰金または見舞金の支給）と共励事業（委員活動に必要な資料の作成配布等）に充当
	関ブロ民連会費	20	関東ブロック民生委員児童委員連合協議会の会費（関ブロ民連事業費）に充当
	横浜市社会福祉協議会会費	1,000	市社会福祉協議会会費（主に市社協の法人運営、「福祉よこはま」作成等事業費）に充当
	合計	7,500	

※会費 7,500 円のうち、令和 8 年度は一人あたり 1,500 円の補助があるため、会費は、6,000 円となります。

横浜市民生委員・児童委員、主任児童委員の資格要件と推薦手続

	民生委員・児童委員	主任児童委員
1. 資格要件	18 歳以上で横浜市議員の選挙権を有する方のうち、次に掲げる要件に当てはまる方を選任してください。 - 民生委員・児童委員（主任児童委員）活動に時間を割くことができ、円満な常識を持ち、健康である方 - その地域の実情をよく知っており、地域の方が気軽に相談に行けるような方 - 個人情報について、十分配慮し適正な管理ができる方	
①適任者		
②年齢要件 (基準日) 令和 8 (2026) 年 4 月 1 日	◆新任 6 8 歳までの方 (昭和 32 年 4 月 2 日以降出生) ※選出が困難な場合に限り、74 歳（昭和 26 年 4 月 2 日以降出生）までの方とすることが可能です。 ◆元職 7 4 歳までの方 (昭和 26 年 4 月 2 日以降出生)	◆新任 5 4 歳までの方 (昭和 46 年 4 月 2 日以降出生) <u>※選出が困難な場合に限り、58 歳（昭和 42 年 4 月 2 日以降出生）までの方とすることが可能です。</u> ◆元職 6 0 歳までの方 (昭和 40 年 4 月 2 日以降出生) <u>※選出が困難な場合に限り、64 歳（昭和 36 年 4 月 2 日以降出生）までの方とすることが可能です。</u>
③居住要件	原則、担当地域内に居住する方	
2. 任期	令和 10 年(2028)年 1 1 月 3 0 日まで	
3. 推薦主体	地区推薦準備会	連合地区推薦準備会
①設置の単位	主に自治会町内会を単位とします。	主に地区連合町内会を単位とします。 (地区民児協を単位とします。)
②構成	推薦人 5 ～ 1 0 人	推薦人 5 ～ 1 0 人
③構成員 (推薦人)	自治会町内会の代表、地区民児協の代表、その他地域住民の福祉等に関係のある方 <u>※自治会町内会の代表と地区民児協の代表は、地区推薦準備会に必ず出席してください。</u>	地区連合町内会の代表、地区民児協の代表、その他児童の福祉等に関係のある方 <u>※地区連合町内会の代表と地区民児協の代表は、連合地区推薦準備会に必ず出席してください。</u>
	地域の福祉活動やボランティア活動の人材情報を幅広く集め、地区・連合地区推薦準備会で、適任者を選出します。	

4. 地区推薦準備会、連合地区推薦準備会開催

開催までの準備

・候補者の人選

地区推薦準備会（民生委員・児童委員の推薦）、連合地区推薦準備会（主任児童委員の推薦）の会議開催までに、候補者の人選を行い、候補者へ「候補者履歴書（指定の様式）」の作成を依頼しておきます。

履歴書は、推薦準備会における審議資料として使用し、それ以外の目的には使用しないことを候補者に伝え同意を得てください。
取扱いには十分注意してください。

・推薦人の人選

推薦準備会の会議開催までに推薦準備会推薦人を選出しておきます。
「地区・連合地区推薦準備会推薦人選出報告書（指定の様式）」を作成します。

・開催の案内

推薦準備会の日時と場所を決定し、選出した推薦準備会推薦人の方々にお知らせします。

開 催

①開催条件の確認

自治会町内会（地区連合町内会）の代表及び地区民生委員児童委員協議会の代表が出席し、推薦人の半数以上が出席していることを確認します。

②会議の進行

会議の座長を推薦人の互選により定め、座長は「地区・連合地区推薦準備会推薦人の方々にお願い」を読み上げ、会議の趣旨の徹底を図ります。

③審議

主に次の点について審議します。

- ・適任者の要件を満たしているか。
- ・留意事項を確認しているか。
- ・年齢要件、居住要件を満たしているか。
- ・個人情報の取扱いについて十分配慮し、適正な管理ができるか。

④会議録の作成

「地区・連合地区推薦準備会会議録（指定の様式）」を作成し、推薦人に署名をいただきます。

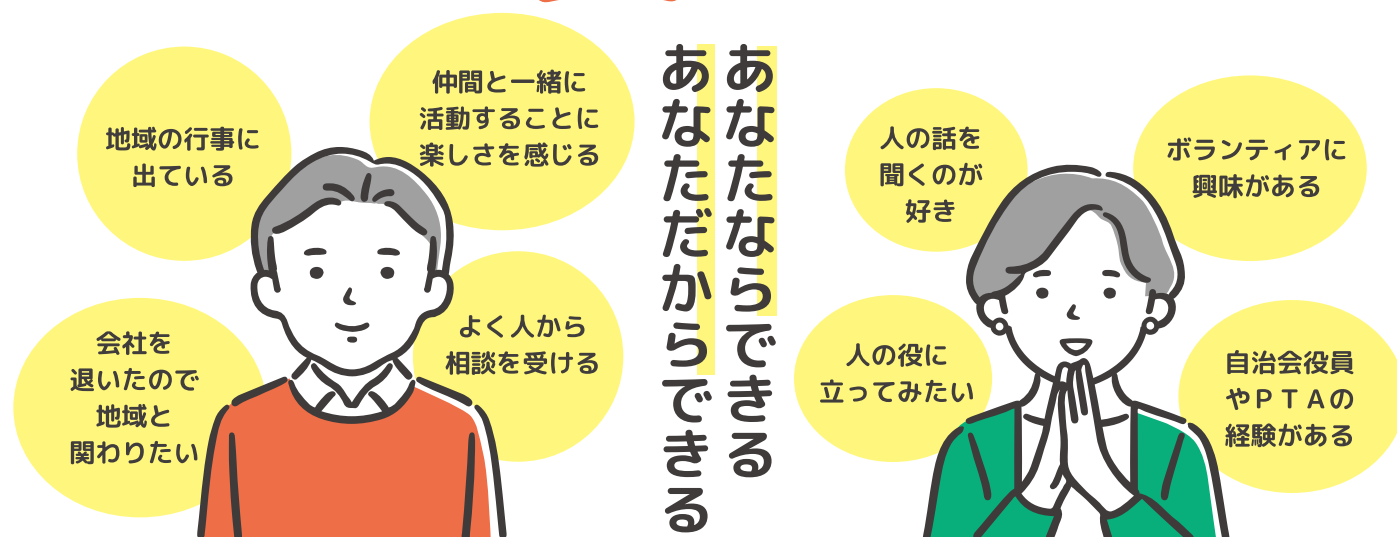
会議は非公開とし、出席者は議事に関する秘密を厳守します。

候補者の内申

推薦準備会の終了後に、次の書類を区役所福祉保健課へ提出してください。

- (1) 「民生委員・児童委員候補者履歴書」「主任児童委員候補者履歴書」
- (2) 「地区・連合地区推薦準備会会議録」
- (3) 「地区・連合地区推薦準備会推薦人選出報告書」

\やってみませんか？/ 民生委員・児童委員



横浜市では、約4,400人の民生委員*が地域を支えています

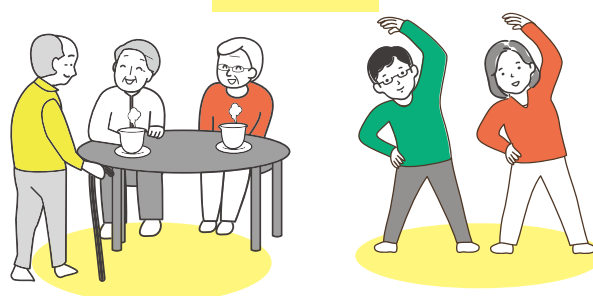
※主任児童委員も含む

民生委員ってどんなことをするの？

相談者の声を聞き
福祉サービスにつなぎます



仲間と一緒に
地域のゆるやかなつながりを
育みます



経験者が
感じた

民生委員のやりがい・活動で得たもの

活動そのものが
楽しめた

福祉の仕組みに
詳しくなれた

人や地域に
貢献できたという
充実感を得られた

仲の良い友達
ができた





具体的には
こんな感じです

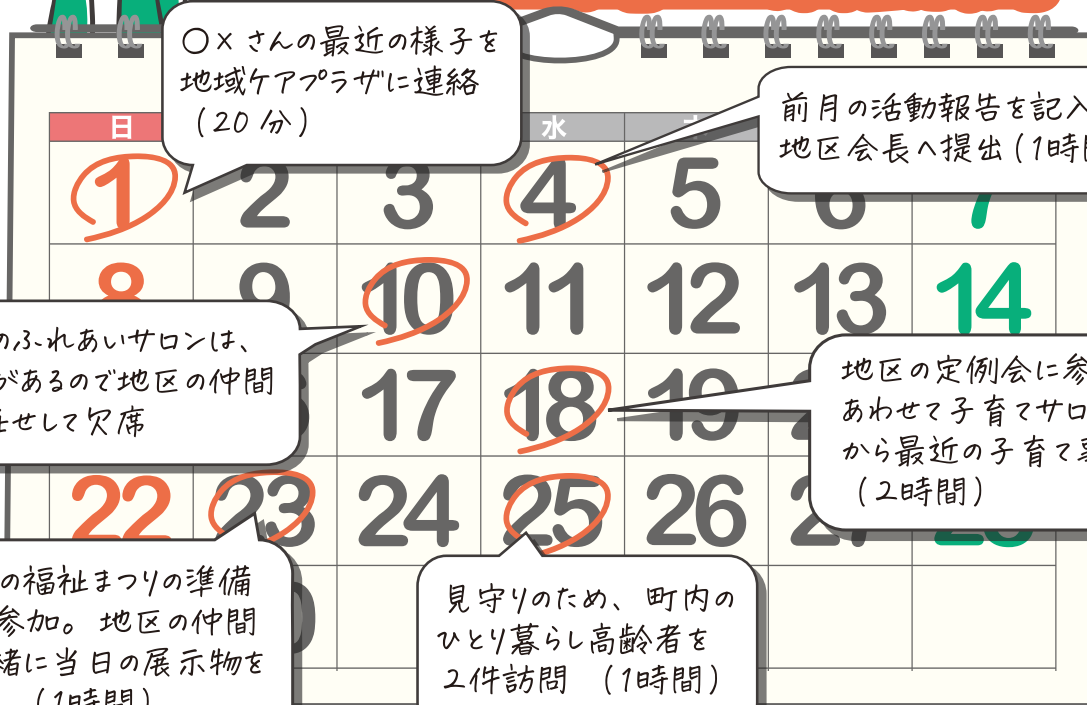
見守り

相談・
情報提供

交流の場
づくり

つなぎ役

ある1か月の活動例



〇×さんの最近の様子を
地域ケアプラザに連絡
(20分)

前月の活動報告を記入し、
地区会長へ提出(1時間)

〇〇のふれあいサロンは、
私用があるので地区の仲間
にお任せして欠席

地区の定例会に参加。
あわせて子育てサロン代表
から最近の子育て事情を聞く
(2時間)

来月の福祉まつりの準備
会に参加。地区の仲間
と一緒に当日の展示物を
つくる(1時間)

見守りのため、町内の
ひとり暮らし高齢者を
2件訪問(1時間)

Q&A よくあるご質問



Q. 福祉の経験や知識が全くなく自分に務まるかととても不安です。



A. わからないことがあっても、周囲の先輩委員や会長がフォローします！
決してひとりで活動するわけではありません。



Q. 仕事をしていますが、両立できますか？



A. 仕事や介護など様々な事情があっても、
ご自身のできる範囲で無理なく活動いただければ大丈夫です。



Q. 困っている人は手助けしたいのですが、365日昼夜問わずに相談されたら大変です。



A. できる範囲での活動で問題ありません。深夜や早朝の対応や金銭管理など、
できないことははっきり断れます。関係機関もサポートします。



Q. どういう身分ですか？報酬はありますか？



A. 厚生労働大臣から委嘱された地域福祉の増進を担うボランティアです。任期は3年です。
報酬はありませんが、交通費等として通常年額 70,200 円の活動費の支給があります。



Q. 民生委員と主任児童委員の違いは何ですか？



A. 民生委員のうち、児童福祉に関する事項を専門的に担当するのが主任児童委員です。
児童委員でもある民生委員と一体となって活動を行っています。

やってみようかな？と思ったら…

お住まいの地域の自治会町内会長、

または 区役所福祉保健課 (TEL 045-788-7820) へご相談ください。

令和7年1月発行

受講生募集

食育ボランティアとして

地域で活躍しませんか

活動内容

食育ボランティアとして活動するヘルスマイトは、講話・体験による食育で、健康づくりに役立つ食の知恵を地域へ届けています。

学んだことが
地域の人役に立つ！

小学生向け食育講座

自分や家族の
健康づくりにつながる！

シニアの減塩教室

活動紹介は
こちら

食育ボランティアとして活動するには・・・

①養成講座を受ける

② 食育ボランティア
(ヘルスマイト) に入会

③地域で活動

食育ボランティア（ヘルスマイト）養成講座

健康的な食事や生活習慣病予防等、ヘルスマイトの活動に必要な知識を座学・グループワーク等を通して学びます。

【日時】 10/6(火)、10/19(月)、11/13(金)、11/30(月)、12/14(月)

令和9年1/13(水)、2/2(火)、2/18(木)、3/12(金) 全9回

各回午後1時30分から4時

【場所】 金沢区役所5階 栄養相談室 ほか

【対象】 金沢区在住で、8回以上出席できる人。ヘルスマイトに入会して活動できる人。

【定員】 30人(応募多数の場合は抽選)

【申込】 令和8年9月18日(金)までに二次元コード、電話、FAX(住所、氏名、電話番号、
「食育ボランティア養成講座参加希望」を記入)にてお申し込みください。



申込はこちら！

申込
問合せ

金沢区役所福祉保健課健康づくり係（4階408）電 話：788－7840
FAX：784－4600

各自治会・町内会長 様

災害時要援護者名簿の取扱い説明会の開催
及びアンケートの回答について（ご依頼）

日頃から金沢区政の推進に御理解・御協力を賜り、誠にありがとうございます。

災害時に、特に支援を必要とされる方の情報をまとめた『災害時要援護者名簿』を自治会・町内会へ提供する制度（情報共有方式）についての説明会を今年度も開催いたします。

また、災害時要援護者支援に関するアンケートも実施します。

つきましては、お手数ですが説明会参加希望の有無及び災害時要援護者名簿の実施状況についてご回答いただきますようお願いいたします。

○説明会の開催について

災害時要援護者名簿の提供や取扱方法、活用事例等について、次の日程で開催いたします。【添付資料参照】

【第1回】令和8年10月8日（木）午後3時00分～4時00分

【第2回】令和8年10月10日（土）午前10時30分～11時30分

※会場は、各回とも区役所5階1号会議室です。

※各回同じ内容です。いずれの日程にも参加が難しい場合は、個別相談を受け付けますので、希望される方は事前に区役所へご連絡ください。

○アンケートについて

貴自治会・町内会で取り組んでいる災害時要援護者支援の取組状況について伺うアンケートです。説明会参加の有無にかかわらずご回答くださいますようお願いいたします。

○回答方法等について

別添回答用紙を同封の返信用封筒、EメールまたはFAXにて回答ください。
なお、右記二次元コードよりご回答いただくことも可能です。

・Eメール：kz-saigaiyoengo @city.yokohama.lg.jp

・F A X：786－8872

【回答期限】9月25日（金）



お問合せ 金沢区高齢・障害支援課
池村、津嶋
電話 788-7773
FAX 786-8872

災害時要援護者支援名簿に関する説明会 回答用紙(㍻9/25)

※二次元コードからご回答いただく場合はこちらの用紙の提出は不要です。

自治会・町内会名 _____

回答者名 _____

連絡先 _____

1 災害時要援護者支援者名簿取扱説明会について

参加を希望する回に✓を付けてください。

【第1回】令和8年10月8日(木) 午後3時～4時

☐ 参加する (人) ☐ 参加しない

【第2回】令和8年10月10日(土) 午前10時30分～11時30分

☐ 参加する (人) ☐ 参加しない

※各回とも同じ内容です。

※いずれの日程への参加も難しい場合は、区役所で個別相談を受け付けます。

希望される場合は事前に区役所へご連絡ください。

2 災害時要援護者支援の取組状況について

現在、貴自治会・町内会で取り組んでいるものに✓を付けてください。(複数回答可)

※災害時要援護者とは、災害時に自力で避難することが難しい方(高齢者、障害者、乳幼児、妊産婦、外国人など)をいいます。

- ☐ 自治会・町内会で独自に要援護者の名簿を作成している(手上げ方式等)
- ☐ 区役所から提供された災害時要援護者名簿(情報共有方式)を活用している
- ☐ その他、これらに替わる取組を実施している
(例) 見守り活動・顔の見える関係づくり

内容：

☐ 上記のいずれにも取り組んでいない

3 災害時要援護者支援を進める上での課題について

現在、貴自治会・町内会において災害時要援護者支援を進める上で課題と感じているものに✓を付けてください。(複数回答可)

- ☐ 個人情報への取扱いが難しい
- ☐ 要援護者への具体的な支援方法が分からない
- ☐ 住民の理解や協力が得られにくい
- ☐ 担い手・支援者が不足している
- ☐ 何から取り組めばよいか分からない
- ☐ その他

☐ 特に課題はない

◆回答項目は以上です。ご協力ありがとうございました。◆

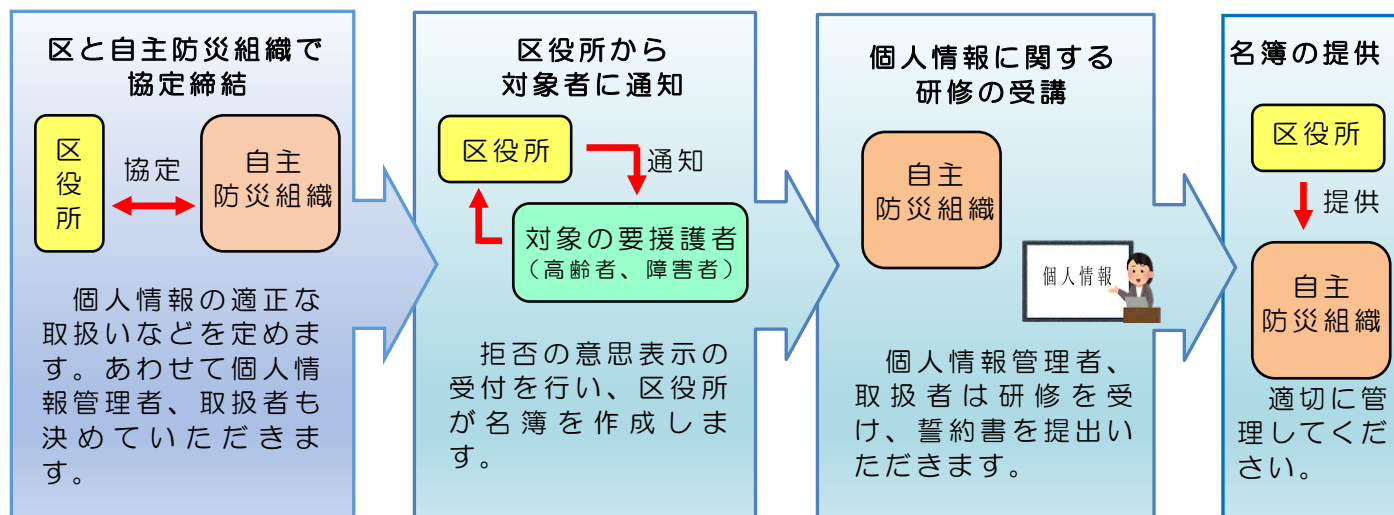
区から提供する災害時要援護者名簿について《参考資料》

○情報共有方式とは

要援護者からの拒否の意思表示がない限り、自主防災組織等に行政が保有する要援護者の個人情報（名簿）を提供する方式です。

- 1 より多くの災害時要援護者が把握できます。
- 2 区が毎年更新しますので、自治会・町内会で調べ直す必要がありません。
- 3 すでに独自に作成している名簿の補完としても使うことができ、より情報を充実できます

○名簿提供までの手続



○対象者

区役所と協定を締結した地域にお住まいの、ご自宅で生活している方で、次のいずれかに該当する方

- ① 介護保険要介護・要支援認定者でア～ウのいずれかに該当する方

☐ ア 要介護3以上の方、☐ イ 一人暮らし高齢者、または高齢者世帯でいずれもが要支援または要介護認定の方、☐ ウ 認知症のある方

- ② 障害者総合支援法のサービスの支給決定を受けている身体障害者、知的障害者、難病患者
- ③ 視覚障害者、聴覚障害者及び肢体不自由者のうち身体障害者手帳1～3級の方
- ④ 療育手帳（愛の手帳）A1・A2の方

○提供する情報

- ①氏名 ②住所又は居所 ③生年月日 ④性別 ⑤電話番号その他の連絡先 ⑥避難支援等を必要とする事由（「介護」、「障害」の欄を設け、印をつける） ⑦その他必要な事項

○地域で支え合う災害時要援護者支援 取組事例集について

災害時要援護者支援に取り組む金沢区の自治会・町内会へのアンケートを実施し、その結果をもとに活動事例集を作成しました。事例集は金沢区ホームページで公開しています（「金沢区災害時要援護者支援事業」で検索）。

地域での支援活動のヒントとして、ぜひご活用ください。

※ホームページは右記二次元コードからもご覧いただけます。



令和 8 年度地域の担い手創出支援事業
「自治会町内会担い手づくり講座」の実施について（ご案内）

1 趣旨

自治会町内会の会長や役員の皆さまにおかれましては、日頃から地域の様々な活動にご尽力くださり感謝申し上げます。

人口減少やライフスタイルの多様化等に伴い、地域のつながりが希薄化し、地域活動の担い手不足や新たな担い手の発掘が課題となる中、横浜市として将来に向けた地域コミュニティの活性化に取り組んでいます。

令和 8 年度も自治会町内会の会長や役員の皆さまを対象に、役員のなり手不足や会員の高齢化という顕在化してきている課題に対し、新たな参加者を増やすための工夫や、具体的事例を踏まえた効果的な手法について、自治会町内会運営のヒントとしていただくための講座を実施します。

2 お願いしたいこと

【区連長】ご承知おきください。

【地区連長】地区定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いするとともに、参加についてご検討ください。

3 講座の概要

地域の担い手を増やすきっかけとなるような「小さな役割づくり」や「出来る範囲での参加を認め合う仕組み」など、誰もが関わることのできる「小さな参加のかたち」の考え方や手法を学びます。

(1) 講師

大塚 朋子氏（NPO 法人 こまちぷらす理事）

地域における多様な主体との関わりや、地域の担い手を増やすきっかけづくりなどについてお話しいたします。

落合 稔氏（東京都大田区 田園調布西町会会長）

実際の自治会・町内会活動のご経験を交えながら、新たな担い手づくりや参加促進の工夫について、実践事例をお話しいたします。

(2) 日時・会場

- ① 9 月 5 日（土） 14 時～16 時 【かながわ県民センター】
- ② 9 月 10 日（木） 14 時～16 時 【サンハート（旭区民文化センター）】
- ③ 9 月 16 日（水） 14 時～16 時 【港南公会堂】
- ④ 9 月 29 日（火） 14 時～16 時 【緑公会堂】

4 申込み方法等

(1) 申込み方法

電子申請システムでの申請または
Eメール、電話、FAXのいずれかでお申込みください。



▲電子申請システム
(お申込みはこちらから)

(2) 申込期限：令和8年8月14日（金）まで

※応募者多数の場合は抽選で受講者を決定し、
ご希望の回に参加いただけない場合のみ、8月28日（金）までにメールでご連絡いたします。
(定員に満たない場合は、引き続き受け付けます)

(3) 申込み・問合せ先

各区地域力推進担当
(申込み・問合せ先の詳細は、添付のチラシをご参照ください)

5 添付資料

チラシ：「気軽な参加から広げよう！ 自治会町内会担い手づくり講座」
※本市ホームページにも掲載します。



▲令和8年度地域の担い手創
出支援事業ホームページ

6 令和7年度の開催実績（参考）

昨年度は「防災」をテーマに、地域のつながりづくりを目的とした講座を実施しました。
収録動画を市のホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

参加者の感想

- ・今後の自治会活動の参考になった。
- ・地域の皆さんにどのように自治会活動に関わってもらおうかを考える機会になった。
- ・自分の自治会や周りの友人等へ内容を共有したいと思った。



▲令和7年度地域の担い手創
出支援事業ホームページ

市民局地域活動推進課
担当 大内、小池
電話 045-671-3624 /FAX 045-664-0734
メール sh-chiikikatsudo@city.yokohama.lg.jp

申込
期限

令和8年8月14日(金)まで

※応募者多数の場合は抽選で受講者を決定し、ご希望の会場・日時に参加
いただけない場合のみ、8月28日(金)までにメールでご連絡いたします。

※定員に満たない場合は、引き続き受付

受講対象者

市内自治会町内会の会長や役員等の皆さま
(自治会町内会で活動している方、地域活動に取り組んでいる方も可)

申込方法

電子申請システムでの申請または下記【申込事項】を記入の上、
Eメール、電話、FAXのいずれかでお申込みください。

電子申請システムにてお申込みの方

横浜市電子申請システム ▶ 手続き一覧(個人) ▶ 自治会町内会担い手づくり講座 で検索

申込事項

- ①希望する会場・日時 ②自治会町内会名 ③役職名 ④参加人数
⑤名前(漢字) ⑥名前(ふりがな) ⑦電話番号 ⑧メールアドレス



こちらの
二次元コードから
お申し込み

お問合せ・申込先(各区地域力推進担当)

青葉区 ☎045-978-2286 ✉ao-chiikiryoku@city.yokohama.lg.jp	港南区 ☎045-847-8383 ✉kn-chiiki@city.yokohama.lg.jp	戸塚区 ☎045-866-8328 ✉to-chiikiryoku@city.yokohama.lg.jp
旭区 ☎045-954-6028 ✉as-chiikiryoku@city.yokohama.lg.jp	港北区 ☎045-540-2247 ✉ko-chikara@city.yokohama.lg.jp	中区 ☎045-224-8136 ✉na-chiikiryoku@city.yokohama.lg.jp
泉区 ☎045-800-2333 ✉iz-chiikiryoku@city.yokohama.lg.jp	栄区 ☎045-894-8936 ✉sa-chiryoku@city.yokohama.lg.jp	西区 ☎045-320-8319 ✉ni-chiikiryoku@city.yokohama.lg.jp
磯子区 ☎045-750-2398 ✉is-chiikiryoku@city.yokohama.lg.jp	瀬谷区 ☎045-367-5789 ✉se-chiikiryoku@city.yokohama.lg.jp	保土ヶ谷区 ☎045-334-6380 ✉ho-chiikiryoku@city.yokohama.lg.jp
神奈川区 ☎045-411-7026 ✉kg-chiikiryoku@city.yokohama.lg.jp	都筑区 ☎045-948-2474 ✉tz-chiikiryoku@city.yokohama.lg.jp	緑区 ☎045-930-2237 ✉md-chiikiryoku@city.yokohama.lg.jp
金沢区 ☎045-788-7809 ✉kz-tiikiryoku@city.yokohama.lg.jp	鶴見区 ☎045-510-1678 ✉tr-chiikiryoku@city.yokohama.lg.jp	南区 ☎045-341-1239 ✉mn-chiikiryoku@city.yokohama.lg.jp

※FAXでお申込みをご希望の方は、市民局地域活動推進課宛てにお送りください。☎045-664-0734

※お申込みにあたりいただいた個人情報は、本事業以外には使用いたしません。

自治会町内会の
会長や役員等の
皆さまへ

令和8年度

参加
無料

気軽な参加から広げよう!

自治会町内会 担い手づくり講座

「関わり方」を工夫することで、
担い手を増やすきっかけとなるかもしれません。
本講座では、誰もが関わることのできる
「小さな参加のかたち」の考え方や
実践事例を学ぶことができます。



	日程	時間	会場
1	9月5日(土)	14:00~16:00 (受付13:30~)	かながわ県民センター
2	9月10日(木)	14:00~16:00 (受付13:30~)	サンハート (旭区民文化センター)
3	9月16日(水)	14:00~16:00 (受付13:30~)	港南公会堂
4	9月29日(火)	14:00~16:00 (受付13:30~)	緑公会堂

※講座内容は、各会場同じです。

電子申請システムでの
お申込みはこちらから



申込
期限

令和8年
8月14日(金)まで

主催：市民局地域活動推進課 委託先：株式会社イータウン

日時・会場・定員

1

日時 令和8年9月5日(土)
14:00～16:00(受付13:30～)

会場 **かながわ県民センター**
神奈川区鶴屋町2-24-2
「横浜駅」西口・きた西口から徒歩5分

定員 150名

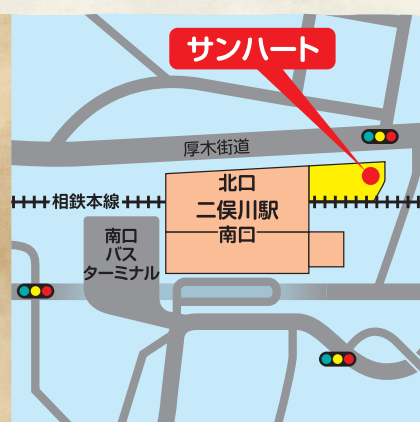


2

日時 令和8年9月10日(木)
14:00～16:00(受付13:30～)

会場 **サンハート(旭区民文化センター)**
旭区二俣川1-3
相鉄本線「二俣川駅」北口から徒歩1分

定員 100名

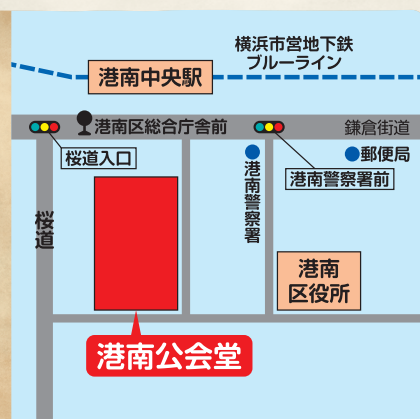


3

日時 令和8年9月16日(水)
14:00～16:00(受付13:30～)

会場 **港南公会堂**
港南区港南中央通10-1
市営地下鉄ブルーライン「港南中央駅」1番出口から徒歩1分

定員 100名



4

日時 令和8年9月29日(火)
14:00～16:00(受付13:30～)

会場 **緑公会堂 緑区寺山町118**
JR横浜線／市営地下鉄グリーンライン「中山駅」
南口または2番出口から徒歩5分

定員 100名



●会場ごとに定員があります。●講座内容は、各会場同じです。
※講座の様子を撮影し、HPや広報に掲載する場合がありますのでご了承ください。

講座内容・講師紹介

／考え方から実践まで学ぶ／



自治会町内会 担い手づくり講座



本講座では、地域の担い手を増やすきっかけとして、

「小さな役割づくり」

「出来る範囲での参加を認め合う仕組み」

など、具体的な考え方や実践事例をご紹介します。

講師

大塚 朋子 氏

NPO法人こまちぶらす理事



自身も子育て中にこまちぶらすにボランティアとして関わり、後にスタッフになる。こまちぶらすでは、ボランティアコーディネートや多様な方々との対話の場の企画、企業・商店との協働事業、居場所づくり講座等を担当。出産前は、障害者支援・地域ケアプラザにて地域活動支援や高齢者支援の業務に携わる。社会福祉士・精神保健福祉士。

講師

落合 稔 氏

東京都大田区
田園調布西町会会長



多摩川近くの閑静な住宅地にある900世帯の町会の会長。「住みよい街・住みたい街」にしていきたいために、住民の声を反映した町会運営を目指し、アンケート調査を実施。同時に防災及び町会運営のサポーターを募集したところ、50名近くが集った。サポーターの強みを活かせる活躍の場を創出するなど、住民参加型の地域運営に取り組んでいる。

※講座の内容は予定です。変更になる場合があります。

アドバイザー
派遣の
ご案内

講座で学んだことを一緒に実践しませんか

自治会町内会の皆さまが抱える運営の悩みに寄り添いながら、担い手づくりの実践に向けた企画や活動をサポートをします。

ご興味のある方は、会場にてスタッフにお問い合わせください。



“お互いに 一声かけて見守りを!”

発行：横浜市消費生活総合センター

お試しのつもりが 定期購入だった!

動画サイト広告を見て「お試し980円・定期縛りなし」と表示された美容クリームを注文した。2回目の商品と請求書が届き、**定期購入**と分かったので解約したい。

(相談者：60歳代女性)

「**1回限り**」のつもりが、実際は「**定期購入**」だった。という相談が増えています。「**定期縛りなし**」は「**最低購入回数**の指定がない**定期購入**」の可能性があります。

注文する前に、必ず最終確認画面で「**最低購入回数・支払総額・解約方法**」など契約条件を確認しましょう。

⚠️トラブル防止のポイント

- ✓ 広告画面や最終確認画面はスクリーンショット等で証拠として保存する!
- ✓ 1回限りで解約すると、定価との差額を請求される場合もあるので注意する!
- ✓ 定期購入は商品の受取拒否や返品をただけでは解約にならないので注意する!



横浜市消費生活総合センター

検索

相談事例など暮らしに役立つ情報満載!



消費生活相談電話

045-845-6666

(平日 9:00~18:00
土・日 9:00~16:45)



ありがとう。これからも一緒に。

金区共募発第 24 号

令和 8 年 7 月 21 日

金沢区町内会連合会 会長 様

社会福祉法人
神奈川県共同募金会金沢区支会
支会長 鈴木 正 徳

令和 8 年度 共同募金運動について

共同募金の推進につきまして、日頃から格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年度も多くの募金をお寄せいただき、誠にありがとうございました。皆様からお寄せいただいた募金は、地域福祉活動や社会福祉施設・団体の活動を支える貴重な財源として活用させていただいております。これもひとえに、自治会・町内会の皆様をはじめとする地域の皆様のご協力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

例年同様、10月から全国一斉に共同募金運動が実施されます。つきましては、地域福祉の推進のため、今年度も引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、共同募金運動の実施にあたり、共同募金用資材の希望調査を実施いたします。地域の定例会等で周知いただきますようお願いいたします。

なお、「共同募金かなざわだより」につきましては、今年度も回覧及び掲示板への掲示にご協力くださいますようお願いいたします。詳細につきましては、9月定例会にて改めてご依頼させていただきます。

1 依頼事項

共同募金用資材の希望調査（7月下旬～8月上旬頃送付予定）

2 送付先

各自治会・町内会長

【事務局】神奈川県共同募金会金沢区支会
（金沢区社会福祉協議会内）

担当：門脇

TEL:045-788-6080

FAX:045-784-9011

担当：多田・関野
電話：788-6080

No.

請 求 書

¥ . 一 (30円×世帯数)

※世帯数は令和8年7月6日現在の金沢区自治会町内会名簿に基づいています。

ただし、令和8年度 社会福祉法人横浜市金沢区社会福祉協議会会費として
上記金額を請求いたします。

様

令和8年 7月 21日

社会福祉法人
横浜市金沢区社会福祉協議会
横浜市金沢区泥亀1-21-5
会 長 鈴 木 正 徳



子どもが入口になり、地域に出口を創る。
未来へつなぐ地域循環文化の第一歩



地域循環フォーラム

2026

〔開催日〕

11/15(日)

13:00~14:30

会場 金沢公会堂

〒236-0021 横浜市金沢区泥亀2-9-1

廃食油は、地域を豊かにする資源です。

地域から出る一滴の油から、子どもが学び、地域がつながり、福祉を支え、未来を育てます。

この日、横浜から広げたい
3つの循環

子ども

地域循環油
プロジェクト

地域

未来



小さな循環から、大きな循環へ

廃食油を『地域資源』として活用することで、子供たちの学び、地域のつながり、防災意識、福祉への関心を育みます。「ありがとう」が循環する地域文化を、横浜から広げていきます。

基調講演〈テーマ〉

『生きものであることを忘れずに』

特別講師

〈生命誌研究者〉

中村 桂子 先生

「いのち」という視点から、これからの地域社会の在り方を共に考えます。



お申込みはQRコードから

〔定員〕500名〈事前申込制〉

〔参加費〕無料

※お申し込みは先着順となります。

定員になり次第締め切りとさせていただきます。



お問い合わせ

株式会社 共創 担当：河原
E-mail: kyousou1216@gmail.com

主催 株式会社 共創

共催 金沢区自助連絡協議会

後援：金沢区、（申請中／神奈川県、横浜市立大学、フェリス女学院）

協賛：信愛エナジー(株)、インカムジャパン(株)、(有)マルニ商店、ウエノクリーニング(株)、(株)金沢臨海サービス

協力：横浜 SIX(横浜6大学同窓会)

令和7年度 金沢区スポーツ協会 賛助会員名簿 (敬称略)

企業・団体名 (5,000 円 / 1 口)				個人 (1,000 円 / 1 口)	
1	金沢スポーツセンター	10	チーム MT	1	庄司 義明
2	八景酔い話尽酒房ととや	11	居酒屋 菰八	2	泉 誠
3	とんかつ よかろう	12	協同組合横浜輸送センター	3	島谷 晴久
4	(株)羽後鍍金	13	京浜急行電鉄	4	大辻 明
5	テニス部	14	株式会社 キヨシ商事	5	高野 力
6	金沢区剣道連盟	15	ボウリング王国 スポルト八景	6	伊東 博美
7	東新工業株式会社	16	月心 (野球部)	7	水島 達男
8	森 医院	17	金沢警察署少年剣道推進会	8	大村 勉
9	真生工業株式会社	18	(株)アルペンスポーツデポ上大岡店	9	高見 勝貞
以上の賛助会員の皆様に、ご協力をいただきました。 ありがとうございました。				10	谷口 道郎
				11	谷田部 厚子
				12	藤井 正幸

令和8年度 賛助会員募集

金沢区スポーツ協会では、区民のスポーツ普及発展を図り健康増進・地域交流に寄与することを目的として多くの方々のご理解とご賛同のもとに活動しております。当協会事業の発展のためにご支援いただける企業団体・個人の賛助会員を募集しております。

※詳しくは、事務局までお問い合わせ下さい。

※なお、賛助会員の方々のご芳名は、スポーツ協会評議員会議案書並びに広報紙、ホームページに掲載させていただきます。

会 費

◆企業・団体(1口以上)

1 口…5,000 円

◆個人(1口以上)

1 口…1,000 円



お問い合わせ

金沢区スポーツ協会

〒236-0011 金沢区長浜 106-8 金沢スポーツセンター内
TEL/FAX 045-782-9234
HP: <http://kanazawaku-sports.com> Email: kutaikeio1068@tbz.t-com.ne.jp

金沢区スポーツ協会広報紙

令和8年7月発行

No.14

金沢区スポ協だより

金沢区スポーツ協会では、区内の町内会自治会からいただきます事業協力費・賛助会員からの会費をもとに区民のスポーツの普及・振興・健康増進に努めています。

◇金沢区スポーツ協会



会 長 佐野 昇 司

金沢区は豊かな自然に恵まれ、長浜公園や海の公園をはじめ多くの公園、金沢スポーツセンター、各地区のスポーツ会館や地区センターなどスポーツに親しむことのできる場所がたくさんあります。

金沢区スポーツ協会はこうした施設・場所を会場に、小学生からシニアの方まで多くの方々にスポーツに親しんでいただく機会を提供し、区民の皆様の健康増進、地域の交流促進、そして明るい笑顔あふれる豊かな人生づくりの一助となるよう活動しております。

この活動は区民の皆様からいただいております事業協力費、区役所の補助金、企業・事業所や区民の皆様からの賛助金をもとに運営しております。どうぞ引き続きご理解とご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

令和7年度 金沢区スポーツ協会 スポーツフェスティバル



令和8年3月14日、スポーツフェスティバルを開催しました。
大勢のご参加をいただき楽しい1日を過ごせました。



「令和7年度 横浜スポーツ表彰」で横浜市スポーツ協会スポーツ功労賞を受賞されました 高見 勝貞 氏



【令和7年度 横浜スポーツ表彰】

★スポーツ功労賞を受賞されました

高見 勝貞 氏

【令和8年度 評議員会開催】

さる、5月20日(水)金沢区役所において金沢区スポーツ協会評議員会が開催され、令和7年度事業報告・決算、令和8年度事業計画・予算案が検討されいずれも原案通り承認されました。今年度の区スポ協の活動はこれに従って進められます。



金沢区スポーツ協会 専門部の活動紹介

剣道部



金沢区剣道連盟は、昭和29年に発足し、高野武氏創立の高野道場を中心に発展。現在では、高野道場、並木剣友会、金沢警察署少年剣道推進会、釜利谷剣友会、西富岡剣友会の各団体のほか、中学、高校、大学の剣道部で構成され、盛んに稽古を行っています。また、合同稽古会や区民参加の剣道大会を開催しています。各団体の活動状況や入会受付については、HPで紹介しています。金沢区剣道連盟で検索、リンクからご覧ください。

バレーボール部



バレーボール部は、9月に総合大会（シニア・男女混合6人制・9人制）、10月に9人制女子バレーボール大会（郵便局長杯）、2月に冬季大会の3大会を運営しています。金沢区では協会に登録している8チームと、他にも数チームが活動しています。成人女子からシニアまで幅広くバレーボールを楽しんでいます。協会HPに活動エリアなどが掲載されていますのでご興味のある方は協会にお問い合わせください。お待ちしております。

サッカー部



金沢区には小学生チームが13チームあり、ボランティア主体で運営されています。この13チームを対象に、年2回（夏・冬）の金沢区大会を開催。1・2年生、3・4年生、5・6年生の3カテゴリーに分け、3位までのチームにメダルが授与され、例年60~70チームが参加しています。サッカーを始めた初心者の方も大歓迎です。お住まいに近いチームをご紹介します。
・連絡先アドレス：snamskobayashi@gmail.com
・担当：金沢区スポーツ協会サッカー部 小林伸一

卓球部



年2回、春・秋に金沢地区センターで区民卓球大会開催。種目は8種目「男子シングルス3種目（一般・45歳以上・70歳以上）・女子ダブルス(Aランク・Bランク)・混合ダブルス（一般・45歳以上・70歳以上）」。※詳細は金沢区スポーツ協会ホームページ参照
担当：金沢区スポーツ協会卓球部 水島 達男

バドミントン部



バドミントン部は春、秋のダブルス大会・チーム対抗戦・親睦大会・新春のミックス、トリプルス大会（新種目）の5大会を開催しています。また月1回は誰でも参加できる練習会を開催しています。地域のレディースチームは4チーム、その他地域で練習している団体の情報提供など新規で始めたい方にもバドミントンを楽しんで頂けるよう役員12人で頑張っています。

ボウリング部



初心者からベテランまで、幅広く会員を募集しています。年齢ハンデキャップが付き、何方でも優勝の機会があり、そして優勝の他にも沢山の賞が有る楽しい大会を、年間6回偶数月に開催しています。6月は、スカッチトリオ(3人で一投ずつ)、12月は、スカッチダブル(2人で一投ずつ)戦で、その他の月は、個人戦です。これらの大会の他に、年1回身障者とのふれあい大会も開催しております。生涯スポーツとして、若い人から高齢者まで、楽しむボウリングの普及を目指しています。連絡先：島谷 晴久 TEL/FAX：045-788-2612

ソフトボール部



春の区民大会は前年度末の3月下旬に開幕、秋の選手権大会は8月下旬に開幕。主な活動場所 能見台中央公園、小柴多目的広場。生涯スポーツの1つとして、老若男女元気にボールを追いかけています。選手人口が減少しており、合同で参加するチームが増えてきています。ご興味、ご関心がございましたら、グラウンドに足を運んでいただきます見学から。金沢区ソフトボール協会<http://www.kanazawa-soft.net/>
小学生チームはこちらから
金沢区少年少女ソフトボール連盟<https://kanazawa-soft.yokohama/>

テニス部



テニス部では区民の沢山のテニス愛好家の皆様にテニス大会を楽しんで頂ける様に年間 一般・初中級・シニアのカテゴリーで男子・女子・ミックスの各3種目の合計9つのダブルス大会を実施、又ご要望の多かった一般・初中級の団体戦を昨年度から開催しています。昨年度はダブルス大会と団体戦併せて700名を超える多くの方にご参加頂きました。これ迄大会に参加されたことのない方もお仲間とお誘い合わせの上、一度大会にご参加頂ければ幸いです。各大会・団体戦の開催要項はスポーツ協会HPでご確認ください。担当：金沢区スポーツ協会テニス部 山本正之

ゲートボール



10人で、自分の番号のボールを打っていく、競技は、健康寿命を延ばすには丁度良い運動と思っています。金沢区では、春秋、メンズ、レディース初打ち期末と、年5回、大会を楽しんでいます 90才過ぎても楽しめる、ゲートボール、お金もあまりかかりません。皆さまの参加を待ちます！

陸上部



走る、跳ぶ、投げる!!あなたも参加してみませんか!金沢区陸上競技大会は、小学5年生から社会人(ご高齢の方もいます)まで幅の広い年齢層の方を対象に開催し、個人記録に又チーム記録に熱戦を繰り広げてきました。今年も6月6日(土)に三ツ沢競技場での開催を予定しています。近年は、大会参加者の減少傾向が続き、開催が危ぶまれる状況にありました。この状況を打開すべく、令和7年度に隣接区を募集範囲に加えて、区外参加者の増加を得て新たなページを開くことが出来ました。今年もぜひ多くの区内・区外の参加者を得て、熱戦を繰り広げられることを期待しています。お待ちしております!!

バスケットボール部



他の部会のように組織的な活動は出来ていないのですが、少しずつ且つ確実に金沢区のバスケ熱を上げていく為、細々ではありますが親善試合に限らず様々なイベント企画・実施を行っていかようと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

バードゲッターゴルフ部



私達のターゲットバードゴルフ部は「シニアの健康づくりと交流の輪を広げよう」をモットーに地域の方々が気楽に楽しめるスポーツとして、プラスチックの羽根つきボールをゴルフクラブで籠にホールインし、ゴルフと同じく18ホールでスコアを競うゲームです。毎月「月例会」「準月例会」を、春と秋には「泥亀大会」を開催し会員同士の技術向上と親睦を深めています。又、年間を通して県及び横浜市主催の各種大会に参加し交流を深めています、特に金沢区民大会や海の公園での大会では当協会主催のオープン大会として地域の皆様に広くお迎えし、バードゴルフの魅力を伝える場としています。

ミニバスケットボール



金沢区内にはミニバスケットボールチームが、男女合わせて22チームあり、これらを対象に年4回の区大会を開催しています。各チームとも1年生から6年生までの子どもたちで構成されていることから、4大会のうち1回はジュニア交流大会と称し、4年生以下を対象に開催しています。各チームとも部員募集をしておりいつでも体験をすることができます。連絡をいただければお住まいに近いチームをご紹介します。
・連絡先アドレス：yshoji1221@outlook.jp
・担当：金沢区スポーツ協会ミニバスケットボール部 庄司 義明

野球部



野球部では、「金沢区民軟式野球大会」を毎年3月下旬から12月中旬までの日曜日・祝日(祝日は一部のみ)に野島公園野球場等で、スポーツ振興を目的に実施しています。大会は4つの部門、一部・二部・三部・準選歴で、年間を通して各部とも、リーグ戦で、試合を行っています。近年、選手が揃わないとの理由で棄権するチームが多くなっていることから、一部を除き、「お助け」制度を取り入れる事となりました。詳細は、金沢区スポーツ協会へ

ダンススポーツ部



金沢区ダンススポーツ協会は区民のダンス協会です。中高年齢者の余暇を健康と人々のコミュニケーションを密にし生涯スポーツとして普及発展させることを目的としています。2026/9/27(日)金沢スポーツセンター第2体育室に於いてダンス区民杯&オースタムダンスパーティ、2027/3/28(祝)、金沢スポーツセンター第2体育室に於いて区民ダンスフェスティバル&抽選カップ戦、開催の予定です。是非とも皆様の参加又は見学にお越しください。上部団体の横浜市ダンススポーツ連盟では、2026/7/11(土)横浜武道館に於いてベイサイドカップダンス大会開催されます。皆様方お誘い合わせの上、見学(無料)にお越しください。お待ちしております。

令和 8 年 7 月 21 日

地区連合自治会町内会長 各位

金沢まつり実行委員会
委員長 岩崎 建一朗

第52回金沢まつり「花火大会」の募金活動従事について

時下、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

日ごろから、金沢まつり実施について御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

例年、花火大会の運営資金を確保するという趣旨から実施している当日会場における募金活動について、区連会 5 月定例会にて各地区連合自治会町内会様へ募金活動従事者の派遣についてご依頼したところですが、従事者のご調整及び従事者名簿のご提出をいただき誠にありがとうございます。

つきましては、当日の従事内容について以下の通り決定いたしましたのでご連絡いたします。何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1 花火大会日時

令和 8 年 8 月 22 日（土） 午後 7 時開始（荒天時中止）

※集合は午後 5 時、解散は午後 9 時頃を予定しています。

※荒天の場合は、テレホンサービス[050-3159-6791]（当日午前 9 時から）でご確認ください。

2 活動いただく場所について

例年と同様、地区ごとに活動場所を割り振らせていただきました。詳細は「第52回（令和 8 年）金沢まつり花火大会」募金従事体制及び会場図をご覧ください。

3 活動内容

2～3 人で 1 組となっておりいただき花火打上前後に募金活動を行っていただきます。

活動の詳細は、別紙「第51回金沢まつり「花火大会」募金の内容について」をご覧ください。

4 今後のスケジュールについて

- ・ 7 月 27 日（月） 第二回金沢まつり実行委員会
- ・ 8 月 22 日（土） 第52回金沢まつり「花火大会」

5 その他

各自治会・町内会会長の皆様へ、配送ルートにて同様の資料をお送りしておりますので、ご承知おきください。

金沢まつり実行委員会事務局
（金沢区役所地域振興課内）
黒木、小田（TEL788-7801/FAX:788-1937）

令和8年7月21日

各自治会・町内会長 各位

金沢まつり実行委員会
委員長 岩崎 建一朗

第52回金沢まつり「花火大会」の募金活動従事について

時下、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

日ごろから、金沢まつり実施について御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

例年、花火大会の運営資金を確保するという趣旨から実施している当日会場における募金活動について、区連会5月定例会において、各地区連合自治会町内会様へ募金活動従事者の派遣についてご依頼させていただきました。

各自治会・町内会の皆様におかれましては、当該依頼について格別のご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

つきましては、当日の従事内容について以下の通り決定いたしましたのでご連絡いたします。何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1 花火大会日時

令和8年8月22日（土） 午後7時開始（荒天時中止）

※集合は午後5時、解散は午後9時頃を予定しています。

※荒天の場合は、テレホンサービス[050-3159-6791]（当日午前9時から）でご確認ください。

2 活動いただく場所について

例年と同様、地区ごとに活動場所を割り振らせていただきました。詳細は「第52回（令和8年）金沢まつり花火大会」募金従事体制及び会場図をご覧ください。

3 活動内容

2～3人で1組となっただき花火打上前後に募金活動を行っていただきます。

活動の詳細は、別紙「第52回金沢まつり「花火大会」募金の内容について」をご覧ください。

4 今後のスケジュールについて

- ・ 7月27日（月） 第二回金沢まつり実行委員会
- ・ 8月22日（土） 第52回金沢まつり「花火大会」

※今年度募金活動従事にエントリーされていない会につきましても、情報提供のため本紙をお配りしています。

金沢まつり実行委員会事務局
（金沢区役所地域振興課内）
黒木、小田（TEL788-7801/FAX:788-1937）

第 52 回金沢まつり「花火大会」募金の内容について

1 業務概要

(1) 集合時間

令和 8 年 8 月 22 日（土）午後 5 時 ※荒天時中止

(2) 集合場所

大会本部前に、募金の活動場所（定点位置 A～I）ごとに机を設置しております。一緒に募金活動を行う区職員が、活動場所を示すアルファベットのプラカードを掲示しておりますので、活動場所のアルファベットの机の前にお集まりください。

(3) タイムスケジュール

午後 5 時～6 時

区職員から活動内容を説明します。

説明終了後、お弁当・お茶を受領し、夕食を摂ってください。

お食事後、募金箱、懐中電灯やメガホン等を皆様に分担して持って、活動場所（定点位置 A～I）へ移動してください。

午後 6 時～7 時

募金活動を順次、開始してください。

午後 7 時～8 時

花火打ち上げ中のため、募金活動は一時休止してください。

募金箱の管理にご注意ください。

午後 8 時～8 時 30 分

募金活動を再開してください。

「是非、本日の感動を花火募金としてご協力をお願いします」旨の呼びかけをします。

午後 8 時 30 分～

大会本部まで、募金箱、懐中電灯やメガホン等をお持ちください。お茶を受領し、解散となります。

(4) 活動内容

大きい募金箱は、会場内（「別紙 1」の A～I）に設置した長机に固定し、2～3 人 1 組で、来場者に募金を呼びかけます。

小さい募金箱は持ちながら、来場者に募金を呼びかけます。

メガホン等ご用意しますので、ご活用ください。

2 注意事項

(1) 事件・事故防止のため、トラブルに巻き込まれそうになりましたら、近くの警察官、警備員、スタッフ等に助けを求めてください。

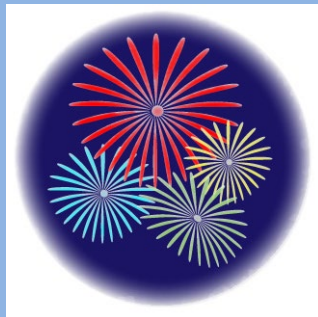
(2) 募金活動従事者の皆様には、原則、Tシャツを着用していただきます。

(3) 地震等が発生した場合は、自身の安全確保や救護等を優先し、落ち着いて指示を待ってください。

花火大会 募金従事体制(定点別)

定点地点	担当地区連合自治会 町内会	自治会町内会 人数	青少年指導員人 数	大学生・ボラン ティア	区役所
A(八景島駅)	-	-	-	調整中	
B(管理センター前)	富岡第一地区	4	2		
	富岡第二地区	4	2		
C(柴口砂浜側)	金沢中部地区	5	1		
	能見台地区	5	3		
D(柴口出入口側)	金沢シーサイドタウン 地区	3	2		
	富岡第三地区	5	2		
E(中央口砂浜側)	金沢東部地区	7	1		
F(中央口出入口側)	金沢南部地区	4	2		
G(南口砂浜側)	金沢地区	4	3		
H(南口出入口側)	六浦地区	4	2		
	六浦東地区	4	2		
I(磯浜口側)	六浦西地区	6	2		
	釜利谷地区	4	3		
合計		59	27	0	0

※概ね各地点20人前後の予定です



【打ち上げ場所】

八景島駅

★募金A



募金★

WC

管理センター

★募金B



なぎさ広場
グラウンド

★募金C

WC



★募金E

【大会本部】

ばたん

【警備本部】

募金G★



★募金H

海の公園
南口駅

集合
場所

★募金F

★募金D

海の公園
柴口駅

第52回

花火大会

金沢まつり

3,500発
打ち上げ

2026 8月22日 ^土 荒天時中止
海の公園 午後7時から

クラウド
ファンディング
募集中!



地元の美味しいお店が
たくさん出店します!



営業時間
正午～午後8時

写真: 第51回金沢まつり 花火大会フォトコンテスト 花火大賞 高橋 成美

大口協賛者 (6月末現在) 金沢まつりは、皆様からの協賛金等をもとに運営されています。なお、掲載の企業・団体のほかにも多くの区民、自治会町内会、企業等の皆様からご協力をいただいております。

NHKニッパツ

日本発条株式会社

京浜急行電鉄(株)

横浜・八景島シーパラダイス

(一社)横浜金沢観光協会

海洋電子工業(株) 君島精機(株) 日本飛行機(株)
アーバントラスト(有) ショッピングセンター ビアレヨコハマ
(協組)横浜マーチャンダイジングセンター 横浜ベイサイドマリーナ(株)
協和合金(株) 横浜セレモ(株) (株)横浜シーサイドライン
神奈川トヨタ自動車(株) (株)京急百貨店 ウェインストヨタ神奈川(株)
(株)アイダスト (株)千歳観光 グランドアクア
ヨコソウマシニカル(株) (医)TDC とも歯科クリニック

金沢区商店街連合会 金沢区町内会連合会 (株)NITTAI (株)TOKUデザインング
(公財)横浜市緑の協会 (株)日本製鋼所 横浜製作所 トヨタメトロジック(株) 横浜テクノタワーホテル
(一社)金沢区三師会(金沢区医師会・金沢区歯科医師会・金沢区薬剤師会) 横浜コーティングPro(株)
京急建設(株) (学)京急学園 京急幼稚園 京浜環境リサイクル(株) (株)ダイトーフジテック (株)キヨシ商事
(学)新栄学園 金沢白百合幼稚園 (医)さくら会 金沢さくら医院 (株)金沢臨海サービス アイテック(株) 有寿企画
ZACROS(株) 横浜事業所・研究所 (医)協友会 横浜なみきりハビリテーション病院 金沢文庫アイクリニック
浜崎建設工業(株)(ラーメンハマコー味のハマコー) JNC(株) 横浜研究所 金沢大道幼稚園 泉伝心寺 (株)阿部興業
(医)三生会 産業振興センター診療所 長峰製茶(株) 横浜金沢店 神奈川県船業協同組合 キンセイ食品(株)
川岸工業(株) (株)シーサイド開発 ビアレヨコハマ 横浜イベント商業協同組合 (株)LiLight

交通規制

当日の午後6時30分から9時(予定)までの間は、海の公園周辺で交通規制が行われます。
皆様のご協力をお願いします。※警察官、警備員の指示に従ってください。

交通案内

- ◎京浜急行「金沢文庫駅」下車徒歩20分
- ◎シーサイドライン「海の公園南口駅」、「海の公園柴口駅」下車徒歩1分



花火
情報

問
い
合
わ
せ

金沢まつり実行委員会 (金沢区地域振興課内)

TEL 045-788-7801 FAX 045-788-1937

当日の開催可否
(当日午前9時から)

音声
案内

050-3159-6791

花火大会の安全な運営のため、必要に応じて手荷物検査をさせていただく場合があります。ご協力をお願いします。

令和8年7月21日

自治会町内会長 各位

金沢まつり実行委員会
委員長 岩崎 建一郎

第52回金沢まつり花火大会交通規制チラシの回覧について（お願い）

盛夏の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

例年、金沢まつり花火大会の運営にあたり御支援、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、昨年、金沢まつり花火大会では、皆様の御支援、御協力により、混乱もなく無事に第51回の大会を終了することができました。改めて感謝申し上げます。

第52回大会の開催にあたり、会場周辺での交通事故を未然に防ぐとともに、地域住民の皆様へのご迷惑を最小限にとどめるために、金沢警察署のご指導により車両通行止め規制を実施いたします。

つきましては、周知のため交通規制チラシの回覧をお願い申し上げます。

1 花火大会開催日

令和8年8月22日（土）午後7時00分から午後8時00分（打ち上げ時間）

※ 荒天時中止

2 車両「通行止め」規制日時

令和8年8月22日（土）午後6時30分から午後9時00分（予定）

※ 通行止め終了時間は混雑状況により変更することがあります。現場の警察官、警備員の指示に従ってください。

3 交通規制箇所

別紙「チラシ」のとおり

4 その他

運輸・宅配等の車両も通行できません。自治会町内会の皆様への周知をくれぐれもよろしく願いいたします。

問合せ 金沢まつり実行委員会事務局
（金沢区地域振興課内）
電話：788－7801
担当：黒木、池田

ご協力をお願いします。

第52回金沢まつり花火大会

※規制時間 8/22(土) 18:30~21:00 予定

 花火大会当日、海の公園周辺道路は「車両通行止め」規制がかかります。
「車両通行止め」規制内にお住まいの皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、規制時間中の車両の運転をお控えいただきますようお願い申し上げます。(運輸・宅配等の車両も通行できません。)
ただし、現場の状況により規制時間が変更される場合があります。現場の警察官・警備員の指示に従ってください。



交通規制の内容

海の公園周辺  18:30~21:00 (予定)

市道柴線  19:40頃~21:00 (予定)

※交通事情等により規制箇所は、一部変更されることがあります。

お願い

ごみは、
お持ち帰りに
ご協力ください

 事前の場所取り (当日朝7時まで) / 無人での場所取り / ペットを連れての来場
自転車・バイクでの公園内進入 / 小型空撮機 (ドローン) の使用

当日の
開催可否

音声
案内

050-3159-6791

(当日午前9時から)

金沢まつりの開催情報はこちら →

第52回金沢まつり花火大会・いきいきフェスタ

検索



花火大会の安全な運営のため、必要に応じて手荷物検査をさせていただく場合があります。ご協力をお願いします。



金沢まつり 花火大会 にご協力をお願いします。

開催日 令和8年8月22日(土) 荒天時中止

花火打上 午後7時から午後8時 **会場** 海の公園

花火写真
第51回金沢まつり花火大会
フォトコンテスト優秀賞

お願い

交通規制について

(18:30～21:00 予定)

裏面参照

※交通規制の時間は変更する場合があります※

当日、会場周辺道路は金沢警察署の指導で、
「車両通行止め」規制を行います。



車やバイク、自転車は規制時間中、
通行することはできません。

必要に応じて、警備員から進入禁止のご案内を
する場合があります。

ご迷惑をおかけしますが、安全確保のためご協力
をお願いします。

臨時駐輪場について

自転車、バイクでご来場された方は、
下記の臨時駐輪場をご利用ください。

金沢漁港横「乙舩公園」「乙舩スポーツ広場」

海の公園中央口前「まつかぜ公園」

柴漁港前「鳶崎公園」「柴仲町公園」

※規制時間中は出場できません※



事故防止のため、海の公園内は
「自転車・バイク」の乗り入れは禁止です。



工業団地線、柴町線(京急バス)は、
花火大会当日の交通規制に伴い、
一部運休となります。

皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

運休
となる
バス

工業団地線
(文17・18・19)

金沢文庫駅 18:00 発以降

柴町線(文13)

金沢文庫駅 18:25 発以降
柴町 18:40 発以降



場内放送について

当日、花火大会での迷子対応及び警備上の都合
により、海の公園の場内放送を利用することが
あります。近隣の皆様には、ご迷惑をおかけい
たしますがご理解、ご協力を賜りますようお願い
申し上げます。

当日の開催可否

当日午前9時に開催・中止を決定します。

当日の午前9時以降、下記のテレホンサービス
または区役所ホームページでご確認ください。

テレホン
サービス

音声
案内

050-3159-6791

(当日午前9時から)

金沢まつり実行委員会・金沢警察署

事務局 金沢区役所地域振興課内 電話 788-7801 FAX 788-1937

令和 8 年 7 月 21 日

自治会・町内会長 各位

金沢区安全・安心まちづくり推進協議会
事務局長（地域振興課長）

安全・安心まちづくり旬間における「地域合同防犯パトロール」の 実施について（依頼）

時下 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、当協議会の活動にご支援、ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

さて、当協議会では、毎年 10 月 11 日～20 日の安全・安心まちづくり旬間において、地域の皆様方との合同防犯パトロールを行っており、今年度も実施を予定しております。

実施を希望される自治会・町内会におかれましては、別添申込書により、お申込みいただきますようご案内申し上げます。

1 地域合同防犯パトロールについて

地域合同防犯パトロールは、金沢警察署・金沢消防署・金沢区役所・金沢防犯協会等の職員が、日ごろから皆様が行っている地域内防犯パトロールに同行させていただくものです。また、防犯活動を行ったことのない団体や新たな防犯組織づくりを行う場合にも、お申出により指導を含めたパトロールの合同実施も行っております。

2 実施期間

令和 8 年 10 月 11 日（日）から 10 月 20 日（火）

※午前 10 時から午後 7 時までにパトロールの開始をお願いします。

※毎年多くの申込みがあり、1 日に複数の自治会・町内会を掛け持ちするため、大変申し訳ありませんがパトロールに同行させていただく時間は最大 30 分となります。

（注）10 月 17 日（土）は、金沢まつりいきいきフェスタ開催のため実施できません。

3 実施場所

お申し込みいただいた自治会・町内会の地域内

4 申込期限

8 月 26 日（水）

※8 月 26 日以降速やかに日程を確定し、順次お申込みいただいた会長あてに通知をさせていただきます。先着順ではありませんので、ご理解ご協力の程お願いします。

5 申込方法

別添申込書で、F A X ・郵送・窓口にてお申し込みください。

6 申込先・事務局

〒236-0021 横浜市金沢区泥亀 2－9－1
金沢区役所地域振興課（区役所 6 階 601 窓口）
黒木、西原、小林（電話：788-7801）

(FAX 番号 788-1937)

安全・安心まちづくり旬間 地域合同防犯パトロール申込書

自治会・町内会名 ()
会長名 ()
担当者名 () 連絡先電話番号 ()

1 実施希望日 10月11日(日)～20日(火)

※午前10時から午後7時までに開始をお願いします。

※毎年多くの申込みがあり、1日に複数の自治会・町内会を掛け持ちするため、大変申し訳ありませんがパトロールに同行させていただく時間は最大30分となります。

(注) 10月17日(土)は、金沢まつりいきいきフェスタ開催のため実施できません。

第一希望 10月 日 () 時間 : ~ :

第二希望 10月 日 () 時間 : ~ :

第三希望 10月 日 () 時間 : ~ :

※必ず第三希望までご記入願います。

2 駐車場の場所

(可能な場合、普通車1台程度停められる駐車場をお願いします)

○ 8月26日(水)までにお申し込みください。

○ お申込みが集中した場合は日程を再度調整させていただくことがあります。

〒236-0021 横浜市金沢区泥亀 2-9-1

金沢区役所地域振興課 黒木、西原、小林

令和8年 秋の全国交通安全運動 横浜市実施要綱

目 的

すべての市民を交通事故から守るために、市民一人ひとりが交通安全について考え、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組むことを通じて交通事故防止の徹底を図ります。

期 間

- 1 9月21日（月）～9月30日（水）の10日間
- 2 交通事故死ゼロを目指す日 9月30日（水）

スローガン

反射材 わたしとかがやく 夜の道

重 点

- 1 反射材用品等の着用推進や安全な横断方法の実践等による歩行者の交通事故防止
- 2 夕暮れ時以降の早めのライト点灯やハイビームの活用促進と飲酒運転等の根絶
- 3 自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底
- 4 二輪車の交通事故防止



横浜市交通安全キャラクター
まもる

◇◇◇令和7年中 時間帯別市内交通事故件数◇◇◇

時間帯	死者数	件数		
		構成率	構成率	構成率
6時～8時	2	4.8	651	9.0
8時～10時	1	2.4	1,018	14.1
10時～12時	4	9.5	828	11.4
12時～14時	1	2.4	792	10.9
14時～16時	4	9.5	835	11.5
16時～18時	4	9.5	1,100	15.2
18時～20時	3	7.1	956	13.2
20時～22時	7	16.7	453	6.3
22時～24時	3	7.1	215	3.0
0時～2時	4	9.5	150	2.1
2時～4時	2	4.8	76	1.0
4時～6時	7	16.7	166	2.3
合計	42	100.0	7,240	100.0

横 浜 市 交 通 安 全 対 策 協 議 会

各機関・団体の主な取組

共通事項

- 1 「重点」に基づき、それぞれの地域等の実態に即した各種交通安全活動を積極的に推進します。
- 2 関係機関・団体の職員等に、この運動について周知を図ります。

横浜市

- 1 地域の交通事故実態に応じた交通安全運動の推進計画等を策定するとともに、関係機関・団体との連携を図りこの運動を推進します。
- 2 各種メディアを活用して、運動の周知と広報啓発を推進します。
- 3 参加体験型の交通安全教室を開催し、効果的な交通安全教育を推進します。
- 4 衝突被害軽減ブレーキ、ペダル踏み間違い急発進抑制装置等が搭載された、安全運転サポート車（略称：サボカー）の普及啓発等を図ります。

警察

- 1 悪質性・危険性の高い交通違反の指導取締りを強化します。
- 2 こどもや高齢者の保護誘導活動や交差点における街頭活動を強力に推進します。
- 3 こども、高齢者、二輪車運転者及び自転車利用者などへの交通安全教室を積極的に推進します。
- 4 反射材の視認効果や、有効な使用方法等の周知を図り、反射材用品の普及活動を推進します。
- 5 交通情報板などを活用して、運動の周知と交通安全の啓発を推進します。

交通安全協会等交通安全団体

- 1 キャンペーンなどの開催により、運動への参加を呼びかけるほか、地域や職場等での自主的な活動や交通安全講習会への積極的な参加を働きかけます。
- 2 交通指導員や各種団体構成員による見守り活動を実施し、交通安全ひとこえ運動やハンドルキーパー運動を推進します。

教育関係

- 1 交通安全教育の推進を図るとともに、参加・体験・実践型の交通安全教室等の校外指導を強化します。
- 2 二輪車・自転車の利用に関する指導の充実を図ります。

道路管理者・鉄道事業者

- 1 交通安全施設の点検整備を実施するとともに、道路パトロールなどを強化します。
- 2 道路情報板、駅広報、車内広報を活用し、この運動の周知と交通安全の啓発を推進します。

地域

- 1 自動車を運転する際、横断歩道等ではこどもや高齢者を始め歩行者等の優先を徹底しましょう。
- 2 夕暮れ時の交通事故防止のため、前照灯は早めに点灯しましょう。
- 3 酒類販売業者等と協力して、運転する人には酒類を絶対に提供しないよう、ハンドルキーパー運動の輪を広げるなど地域ぐるみの運動を行きましょう。
- 4 自転車に乗るときは乗車用ヘルメットを着用しましょう。
- 5 関係機関・団体と連携を図り、地域ぐるみで二輪車の無謀運転を許さない気運を高めましょう。



横浜市交通安全対策協議会
(事務局) 横浜市道路・交通政策局道路政策課
電話 045 (671) 2323